



# C 2009 プロジェクト計画レポート

～Cプロジェクト計画 2006 実施事項報告書～

平成 21 年 12 月

Cプロジェクト計画担当者会議  
(国土交通省、大阪府、奈良県、流域市町村)

# 実施事項報告書目次

---

はじめに .....	1
I Cプロジェクト計画の理念と目指すべきもの .....	2
1. 計画策定の経緯 .....	2
2. 計画の目標と意義 .....	2
(1) Cプロジェクト計画とは.....	2
(2) Cプロジェクト計画の目標 .....	2
(3) Cプロジェクト計画の意義 .....	3
II 約1年間の取り組み報告 .....	4
1. H20年次・H20年度を振り返って .....	4
1. 1 関係機関別で見た目標達成評価 .....	4
1. 2 3Cの視点から見た取り組み状況 .....	6
2. 生命・財産を守る安全で安心な大和川を目指して .....	8
2. 1 取り組みについての総括 .....	8
2. 2 取り組みの代表事例紹介 .....	10
3. 次世代に伝える美しい大和川を目指して .....	20
3. 1 取り組みについての総括 .....	20
3. 2 取り組みの代表事例紹介 .....	23
4. 地域を育む豊かな大和川を目指して .....	39
4. 1 取り組みについての総括 .....	39
4. 2 取り組みの代表事例紹介 .....	40
III 更なる推進を目指した新たな取り組みについて .....	47
1. 水質改善に向けた新たな取り組み .....	47
2. 料理教室での生活排水対策に対する意識啓発活動を実施(大和郡山市) .....	51
IV 大和川の再生に向けて .....	52

## はじめに

大和川の再生を加速するために H18 年 8 月に策定された C プロジェクト計画 2006 をもとに、国土交通省・大阪府・奈良県・流域 38 市町村の各機関では様々な取り組みを進めています。

C プロジェクト計画担当者会議では、C プロジェクト計画の取り組み状況について流域住民の皆様にも広く知って頂くために、この 1 年間で取り組んだ取り組みについて実施事項報告書として御報告させて頂いており、本報告書は 3 冊目となります。

本報告書もこれまでと同様、この 1 年間の取り組みを「生命・財産を守る安全で安心な大和川を目指した取り組み」、「次世代に伝える美しい大和川を目指した取り組み」、「地域を育む豊かな大和川を目指した取り組み」の 3 つの視点に分けて整理し、特に多くの方々を知っていただきたい取り組みについてとりまとめました。

この報告書をご覧頂いた方々には、大和川流域の各機関が大和川の再生という 1 つの目標に向けてそれぞれどのような方針でどのような取り組みを行っているかを知っていただけると考えています。



なお、水環境に関する具体的な取り組みについては、大和川水環境協議会で別途「C プロジェクト計画 2006（水環境編）の取り組み成果報告書」で取りまとめているので、そちらの報告書も是非、御一読下さい。

この報告書を通じて各機関が取り組んでいる取り組みの情報を共有するとともに、流域の住民とも連携・協力しながら C プロジェクト計画を推し進め、平城遷都 1300 年にあたる 2010 年を目指して、さらに大和川の再生を加速させていきたいと思えます。

H21 年 12 月  
C プロジェクト計画担当者会議

## I Cプロジェクト計画の理念と目指すべきもの

### 1. 計画策定の経緯

H16年、大和川下流部の付替え300周年を迎えた年に、本川の平均水質が環境基準レベルを下回った(8地点の平均BOD値)ことから、大和川再生に向けた気運が一気に高まりをみせました。

H17年3月には流域の代表市町村長、奈良県知事、大阪府知事、国土交通大臣が出席し、「大和川水環境サミット」が開催され、流域住民と行政のパートナーシップによる大和川の再生のキックオフとなる「大和川水環境サミット宣言」が採択されました。

この宣言では平城遷都1300年にあたるH22年(2010年)を目標として、関係市町村、奈良県、大阪府、国土交通省が一致協力して3つの将来像、

- ① 生命・財産を守る安全で安心な大和川
- ② 次世代に伝える美しい大和川
- ③ 地域を育む豊かな大和川

を目指した取り組みを進めていくこととし、これを実現するためにCプロジェクト計画を立案することとなりました。

そしてH18年9月、流域住民、国土交通省、奈良県、大阪府、流域38市町村が一堂に会して開催した「大和川フォーラム」において「Cプロジェクト計画2006」を策定しました。

### 2. 計画の目標と意義

#### (1) Cプロジェクト計画とは

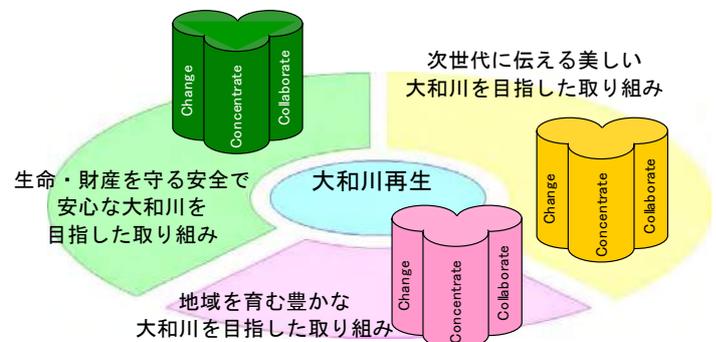
平城遷都1300年にあたるH22年(2010年)を目標年として流域が一丸となって「大和川の再生を加速させる」計画です。

#### (2) Cプロジェクト計画の目標

大和川水環境サミット宣言文で示された以下の3つの姿を掲げています。

- ① 生命・財産を守る安全で安心な大和川
- ② 次世代に伝える美しい大和川
- ③ 地域を育む豊かな大和川

Cプロジェクト計画では上記の目標に向かって、水質の悪い大和川というイメージを変えていく(Change)、流域全体が連携する(Collaborate)、力を集中する(Concentrate)、などを重視していきます。



### (3) Cプロジェクト計画の意義

#### 1) 日本全国の河川の目標になる

大和川流域の歴史は古く、太古から大和川とともに暮らしており飛鳥・藤原京や平城京がおかれるなど、**我が国の歴史を見つめてきた川**といえます。また、万葉の昔から多くの歌人らに愛されてきた川であり、**日本文化を育んだ母なる川**でもあります。

一方、大和川は治水上厳しい条件におかれ、水質等の課題も多く、さらに、水資源にも恵まれないという**全国の河川に共通する課題を数多く有する河川**でもあります。

Cプロジェクト計画を推進することにより、これらの課題を克服し、さらに日本古来の歴史的・文化的背景を有する大和川を再生することは、**日本全国の河川の目標となりうる**ものです。

#### 2) 流域の一体感を醸成し、大和川の価値を高める

Cプロジェクト計画の推進には、共通の目標のもと、流域が一体となって力を集中して取り組んでいくことが必要です。これを実現することで、流域住民と行政機関が“**流域の上下流、左右岸がひとつにつながっている**”ことを認識し、**流域の一体感を醸成するとともに**、大和川の価値が高まり、日常の暮らしや人生に関わりの深い存在となることが期待できます。

## Ⅱ 約1年間の取り組み報告

### 1. H20年次・H20年度を振り返って

#### 1. 1 関係機関別で見た目標達成評価

Cプロジェクトのもと、各自治体が行っている事業は治水事業のようなハード対策から清掃活動や生物調査、環境学習等のソフト対策まで多岐にわたっています。この1年の取り組み計画に対する実施状況を見ると、天候が原因によるイベントの中止等を除き、いずれの自治体においても計画していた取り組みを概ね実施しています。

大和川河川事務所及び各自治体の取り組み総数を見ると、H20年度及びH20年次<sup>1</sup>の市町村の平均取り組み数が約15件、大和川河川事務所が36件、奈良県が78件、大阪府が57件です。市町村では、橿原市、桜井市、斑鳩町、川西町、河内長野市、柏原市、藤井寺市の7市町の取り組み数が24件以上となっており、積極的に取り組んでいます。

また、取り組み総数ではなく、取り組み事業の内容でみると、市町村の平均が約8種、大和川河川事務所が16種、奈良県が17種、大阪府が16種となっており、ハード対策からソフト対策までを網羅している国、府県は市町村に比べて取り組む事業も多岐にわたっています。

市町村では、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、斑鳩町、川西町、広陵町、堺市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市の14市町の取り組み種数が10種以上となっており、府県と同程度の多様な取り組みを進めています。

橿原市、桜井市、斑鳩町、川西町、河内長野市、柏原市、藤井寺市の7市町は、取り組み件数、取り組み内容ともに多く、自治体を挙げて積極的にCプロジェクト計画を進めています。

---

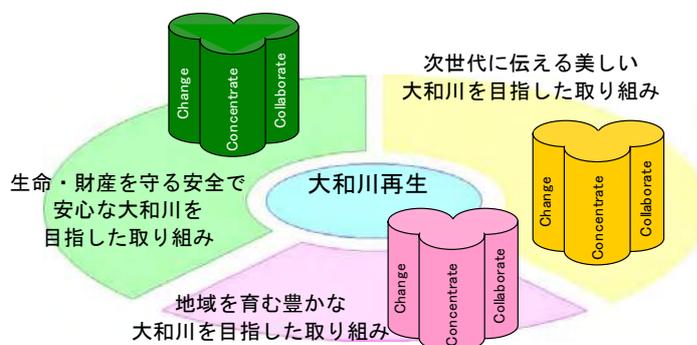
<sup>1</sup> Cプロジェクト計画は9月～8月を基準としているが、ハード事業に代表されるように、取り組み事業によっては4月～3月で評価することが望ましいものも含まれている。このため、9月～8月で評価できるものについては年次、4月～3月で評価するのが望ましい取り組み事業については年度とし、年次に分類される取り組み事業についてはH20年9月～H21年8月、年度に分類される取り組み事業についてはH20年4月～H21年3月での達成状況の評価している。



## 1. 2 3Cの視点から見た取り組み状況

Cプロジェクトは、大和川の将来像（①生命・財産を守る安全で安心な大和川、②次世代に伝える美しい大和川、③地域を育む豊かな大和川）を目指し、「Change（変化）」、「Collaborate（連携）」、「Concentrate（集中）」の“3C”の視点から取り組んでいます。

ここでは、“3C”の視点から見た取り組み状況について整理します。<sup>2</sup>



### ● Change(変化) ●

変化には‘目に見える変化’と‘目に見えない変化’の2つがあります。

‘目に見える変化’は主に大和川河川事務所、奈良県及び大阪府によって進められている地すべり対策、護岸改修、砂防堰堤の設置や土砂災害警戒区域の指定といったハード整備や市町村が進めている下水道整備や接続に向けた支援活動、生活排水対策の実施等が挙げられます。

H20年度に取り組んだ‘目に見える変化’の代表的な取り組みとしては公表対象となっている自治体のハザードマップをすべて作成・公表が完了したことが挙げられます。今後は、ハザードマップを活用し、流域住民の防災意識の向上を目指した‘目に見えない変化’での取り組みに重点を置いていく必要があります。

一方、‘目に見えない変化’は大きく取り組み内容が変化することはありませんが、奈良市においてアダプト制度が新設されたり、御所市ではボランティアによる食用油の回収活動が新たに開始される等、大和川再生にむけた取り組みの裾野は広がりつつあります。

‘目に見えない変化’が大和川にもたらす効果の即効性は期待できないものの、‘目に見える’ハード対策だけでは大和川の再生を達成することはできません。‘目に見えない変化’をもたらす取り組みについては、今後も長期的な取り組みとして官民協力しながら着実に実施していくことが求められています。

<sup>2</sup> Cプロジェクト計画で実施している取り組み事業は単に「Change（変化）」、「Collaborate（連携）」、「Concentrate（集中）」のいずれかに分類できる取り組み事業ばかりではなく、複数に分類されるものも多数あり、以下で整理している取り組みについても重複して記載しているものもあります。

## ● Collaborate(連携) ●

大和川流域で見られていた主な連携は‘近隣自治体間の連携’と‘自治体と住民との連携’でした。

その中で、大阪府と奈良県が連携して H21 年 3 月 1 日に大和川の河川清掃のイベントを開催し、奈良県・大阪府で約 23,700 名の住民が清掃活動を実施、約 247 トンのゴミを回収した取り組みは‘県境を越えた自治体および住民(地域)の連携’という昨年まで殆ど見られなかった「第 3 の Collaborate」といえます。

奈良県、大阪府両府県は今後も連携して大和川再生を目指した取り組みを進めていきたいと考えており、新たな連携が期待できます。

さらに、昨年度設立された大和川市民ネットワークによって、‘地域と地域の連携’という「第 4 の Collaborate」の動きも生まれつつあります。

‘県境を越えた自治体及び住民(地域)の連携’、‘地域と地域の連携’をどこまで成長させることができるかが大和川再生の鍵と考えており、今後はこの第 3、第 4 の連携を強めることが重要です。

## ● Concentrate(集中) ●

集中には‘ハード面から見た集中’と‘ソフト面から見た集中’の 2 つがあります。

H20 年度に取り組んだ‘ソフト面から見た集中’の代表的な取り組みとしては、大和川流域の歴史に関する企画展の開催が挙げられます。これらの企画展は地域の小学生の校外学習の場としても利用されており、子供達にとって大和川流域の昔の文化や歴史といったものに触れる良い機会となっています。

今後は、このような企画展の開催情報を自治体内だけでなく、周辺自治体を含めて広く告知することで、より多くの地域住民が大和川の歴史・文化に触れる機会を創出していくことが重要と考えています。

一方、‘ハード面から見た集中’としては、大和川水系河川整備基本方針が策定されたことが代表的な取り組みとして挙げられます。大和川水系河川整備基本方針が策定されたことで、次の段階である大和川水系河川整備計画の策定、治水対策事業等の実施へと進んでいくことになります。

つまり、同基本方針の策定は‘ハード面から見た集中’のスタートラインが確定したことを意味しています。

## 2. 生命・財産を守る安全で安心な大和川を目指して

### 2. 1 取り組みについての総括

H20年9月以降、奈良県内の10市町村においてハザードマップが公表されましたことにより、大和川流域の全ての市町村（作成義務なしの自治体は除く）でハザードマップの作成・公表を完了しました。

今後はこれらの防災関連の情報をうまく活用しながら、住民が防災に関する基礎的な知識を習得する機会を提供する場を積極的に設けて、“自助力”の向上を図っていく必要があります。

自治体が提供する防災関連サービスとしては、より迅速な情報提供を行なうべく、防災情報メールサービスを導入している自治体が多数存在します。このサービスは住民にとって有益なものであることから、導入済みの自治体においては登録者数の拡大、未導入の自治体においてはできるだけ早い段階で実施できるよう取り組むことが望まれます。

また、長年検討していた大和川水系河川整備基本方針がH21年3月に策定されました。河川整備基本方針とは長期的な視点に立った河川整備の基本的な方針を示したものであり、今後は、約30年間で行う具体的な整備内容を早急に検討する予定です。

図1は、大和川河川事務所、府県、市町村が昨年の取り組みを踏まえて見直したロードマップに対するH21年8月までの進捗状況を整理したものであり、いずれの項目においても計画通りに実施されています。

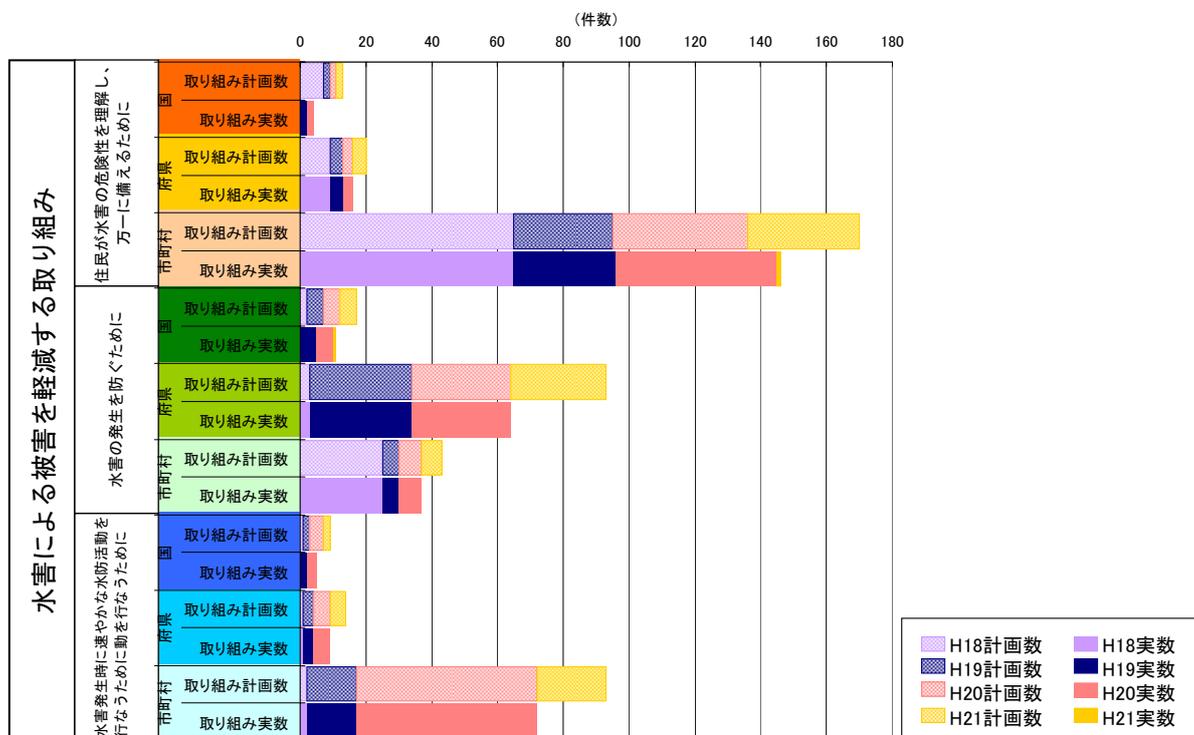


図 1 (1) 関係機関の取り組み状況

※H21年に計画している取り組みについては現在進行中

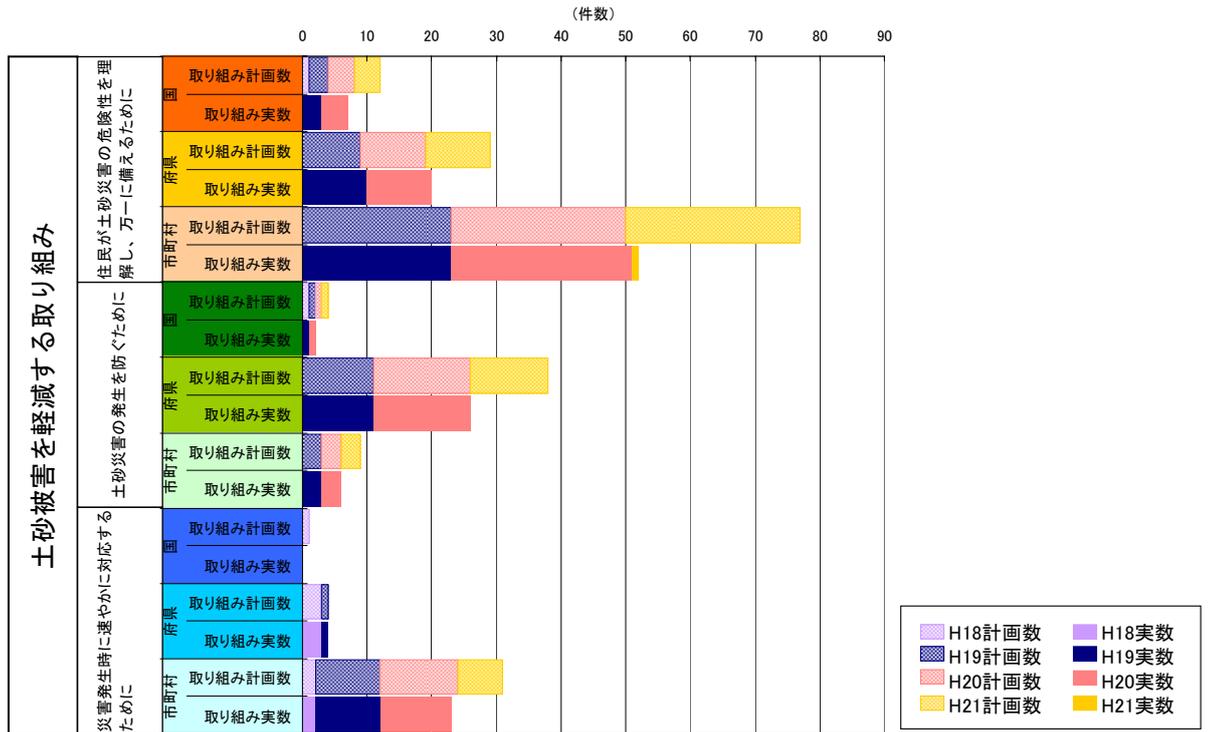


図 1 (2) 関係機関の取り組み状況

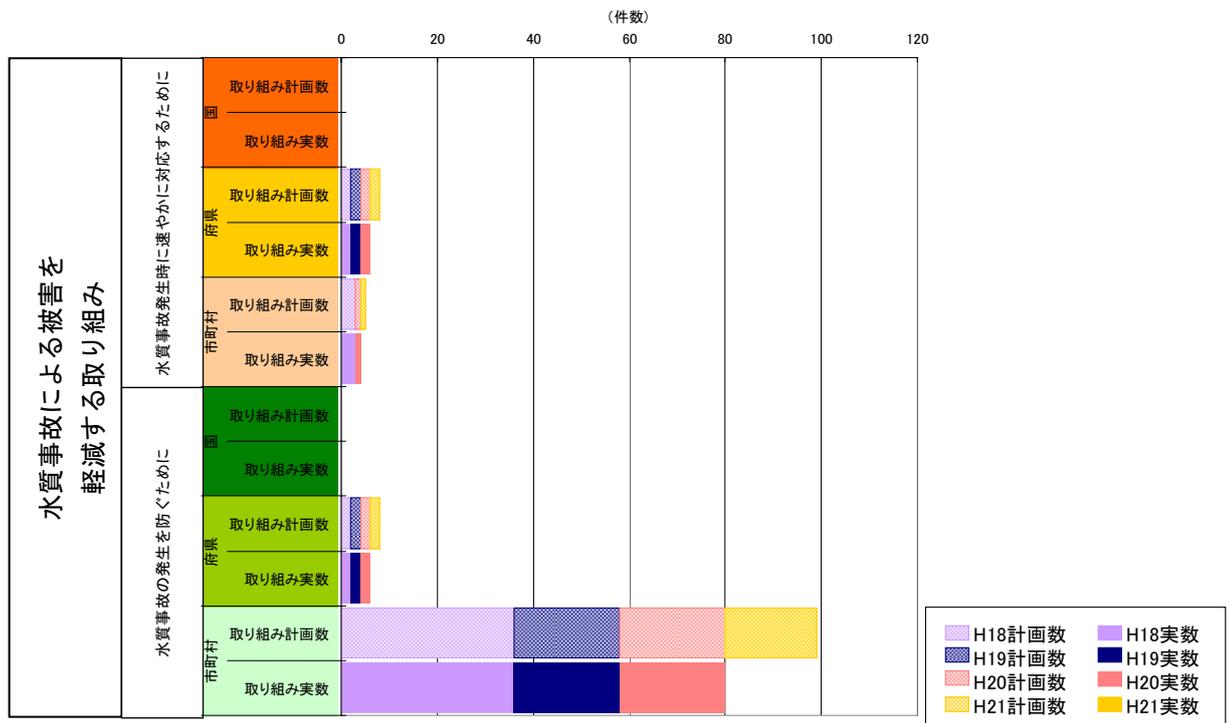


図 1 (3) 関係機関の取り組み状況

※H21年に計画している取り組みについては現在進行中

## 2. 2 取り組みの代表事例紹介

「生命・財産を守る安全で安心な大和川」を目指すための取り組みは大きくハード面とソフト面に分けることができます。

国や府県は、治水事業や土砂災害防止事業等のハード面の取り組みや災害区域の指定作業の比重が大きく、市町村は防災意識の啓発関連や防災訓練、事業所への立ち入り・指導といったより住民にとって身近な取り組みの比重が大きく、「安全・安心」のための取り組みにおいては、国・府県・市町村の役割分担が進んでいます。

次ページ以降にこの1年間に取り組んだ取り組みの中から代表的な取り組みを紹介します。

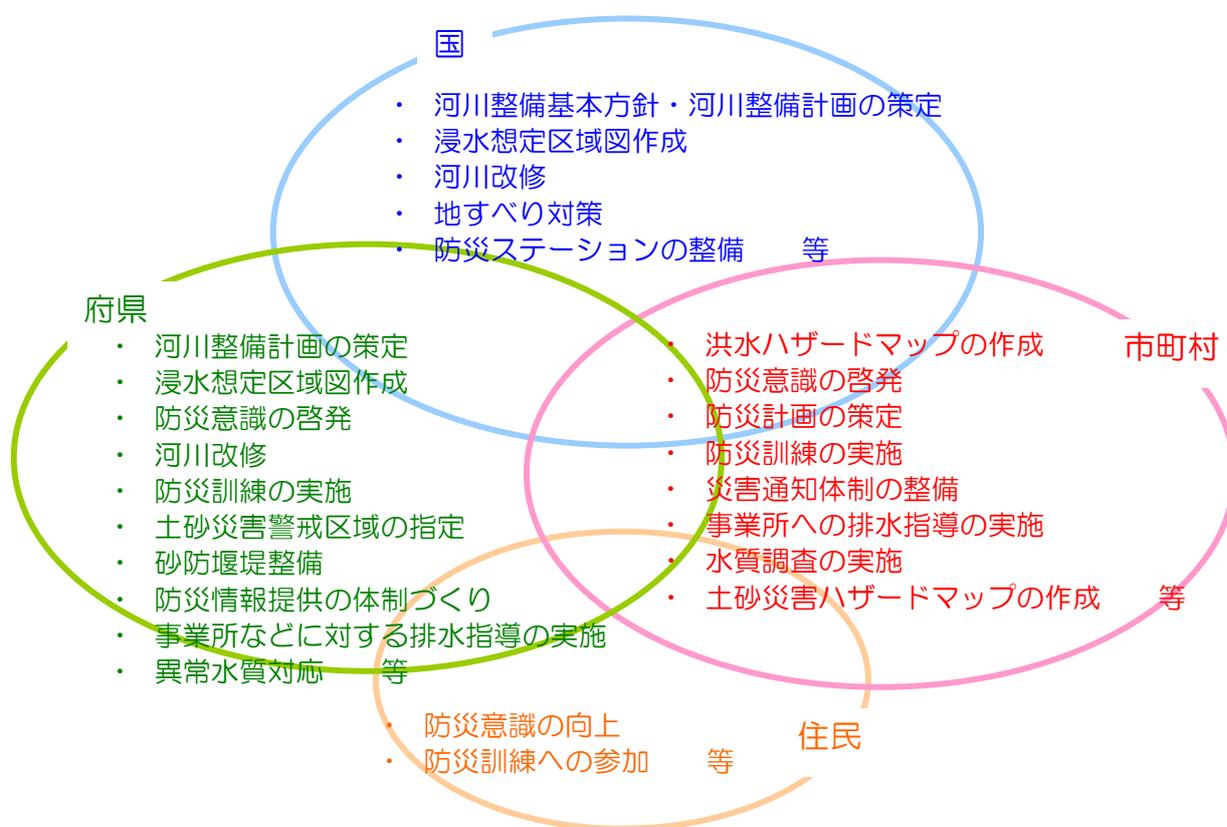


図 2 国・府県・市町村・地域住民が担う役割の概要図

<紹介リスト>

No	取 り 組 み 概 要	
No.1	取り組み内容	防災情報の発信、意識啓発
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和川流域内のすべての自治体（作成義務なしの自治体は除く）においてハザードマップの作成・公表が完了</li> <li>・ 出前講座やイベントを通じた意識啓発・情報発信を実施</li> <li>・ 警報情報や避難情報等をリアルタイムでメール配信するサービスの充実</li> </ul>
No.2	取り組み内容	自治体職員が独自に取り組んでいる防災活動、防災演習等
	実施状況	緊急災害時に円滑な防災活動支援を実施できるよう、自治体職員を対象とした様々な演習や訓練を実施
No.3	取り組み内容	河川整備や地すべり対策によるインフラ整備
	実施状況	計画に沿って着実にインフラ整備を実施中
No.4	取り組み内容	河川整備基本方針、河川整備計画
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川基本方針を H21 年 3 月に策定</li> <li>・ 今後は河川整備計画の策定に向けて検討中</li> </ul>
No.5	取り組み内容	総合治水対策、流域対策
	実施状況 (H21 年 3 月末)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水貯留浸透施設整備率 約 118%</li> <li>・ ため池治水利用施設整備率 約 73%</li> </ul>

事例 No.1

取り組み内容：防災情報の発信、意識啓発

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、大阪府、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、生駒市、葛城市、斑鳩町、川西町、三宅町、河合町、八尾市、富田林市、河内長野市、柏原市、太子町、河南町

キーワード：Change

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

H20年度末までに、大和川流域のすべての市町村（作成義務なしの自治体は除く）でハザードマップの作成・公表を完了しました。

橿原市ではハザードマップを活用した出前出張講座を希望により開催しており、防災意識の啓発活動に積極的にハザードマップを活用しています。

橿原市以外でも、平時においては防災に関する出張講座やイベントを通じた意識啓発、情報発信を、緊急時には警報状況や避難情報をメール配信するシステムの運用等、多くの自治体であらゆる方法を使った防災情報の提供に努めています。

自分達が住んでいる街の地形や過去におこった被害、今後予想される災害等の説明を聞き、いざという時の対応の方法が認識できた。

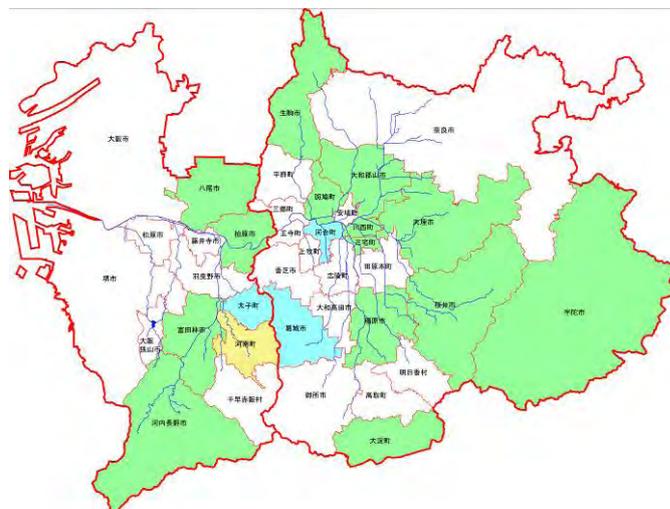


(参加者)



ハザードマップを用いた出前講座の様子  
(橿原市提供)

(防災情報のメール配信システムを導入している自治体)



- メール配信サービス導入済み市町村
- メール配信サービス導入済み府県
- 防災無線導入済み
- メール配信&防災無線導入済み市町村

- ※ 奈良県、大阪府も独自のメール配信サービスを実施中
- ※ 葛城市、河合町や太子町ではメール配信による情報提供は実施していないものの、防災行政無線での速やかな情報提供を実施

事例 No.2	取り組み内容：自治体職員が独自に取り組んでいる防災活動、防災演習等
取り組み主体：香芝市、河合町、藤井寺市	
キーワード：Change、Concentrate	
取り組みの継続性：今後も継続予定	
<p>この1年間のトピック：</p> <p>自治体では、より安全な街づくりを目指し、防災情報の高度化に取り組んでいますが、システムの改良だけでなく、そのシステムを扱う職員への教育も重要といえます。</p> <p>そのような中、香芝市では防災業務の効率化を図るために、市職員と消防署員による防災マップの作成方法や災害箇所を情報システムに登録する方法等の演習を行っています。</p>	
	
<p>市職員や消防署員による防災演習の様子 (香芝市提供)</p>	
<p>河合町では「状況予測型図上訓練」や「図上シミュレーション訓練」を実施しています。「状況予測型図上訓練」とは、災害の状況におかれた際の自分や周囲の状況を考え、普段の備えや心構えを習得することを目的としています。</p> <p>藤井寺市では市職員を対象に、土嚢作成、同報系無線使用、避難所開設等の防災訓練を継続的に実施しており、市職員の防災活動の維持・向上に努めています。</p>	

### ～ 次へのステップに向けてのヒント ～

避難所や避難経路について参加者同士が話し合いながら作業を進めてく図上訓練は、地域の防災リスクや避難行動に対する理解を深める有効な手法といえます。このことから、自治体職員だけでなく、災害弱者となる人が集まっている病院や福祉施設、学校等を対象に、図上訓練を実施することは地域防災力のレベルアップに有効といえます。



事例 No.3	取り組み内容：河川整備や地すべり対策によるインフラ整備																						
取り組み主体	大和川河川事務所、奈良県、大阪府、桜井市、河内長野市、羽曳野市、藤井寺市																						
キーワード	Change、Concentrate																						
取り組みの継続性	今後も継続予定																						
この1年間のトピック	<p>大和川河川事務所が行っている亀の瀬地すべり対策事業はH22年度に概成する予定であり、それに向けて着実に進めていきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(深礎工内部)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(深礎工)</p> </div> </div> <p>亀の瀬地すべり対策事業 (大和川河川事務所提供)</p> <p>奈良県、大阪府においても流下能力を向上させるための河川整備事業や土砂災害を防ぐための砂防堰堤整備事業等が着実に実施されています。</p> <p>(インフラ事業の一例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">自治体名</th> <th style="width: 50%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大阪府</td> <td>飛鳥川、天見川、梅川等に対する河川改修工事を実施。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂災害警戒区域として新たに126箇所を指定 2基の砂防堰堤については施設整備完了。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。</td> <td>累計は310箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">奈良県</td> <td>岩井川ダム試験湛水完了。 菩提仙川の改修事業完了。 その他、約20河川に対する河川改修工事は継続実施。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂災害警戒区域指定に向けた基礎調査を2,030箇所を実施。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2基の砂防堰堤については施設概成。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>桜井市</td> <td>崩壊した山林の復旧治山事業として土砂流出を防ぐ間伐を約7haに対して実施。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河内長野市</td> <td>環境保全林整備事業として間伐事業を約30haに対して実施。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		自治体名	事業内容	備考	大阪府	飛鳥川、天見川、梅川等に対する河川改修工事を実施。		土砂災害警戒区域として新たに126箇所を指定 2基の砂防堰堤については施設整備完了。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。	累計は310箇所	奈良県	岩井川ダム試験湛水完了。 菩提仙川の改修事業完了。 その他、約20河川に対する河川改修工事は継続実施。		土砂災害警戒区域指定に向けた基礎調査を2,030箇所を実施。		2基の砂防堰堤については施設概成。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。		桜井市	崩壊した山林の復旧治山事業として土砂流出を防ぐ間伐を約7haに対して実施。		河内長野市	環境保全林整備事業として間伐事業を約30haに対して実施。	
自治体名	事業内容	備考																					
大阪府	飛鳥川、天見川、梅川等に対する河川改修工事を実施。																						
	土砂災害警戒区域として新たに126箇所を指定 2基の砂防堰堤については施設整備完了。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。	累計は310箇所																					
奈良県	岩井川ダム試験湛水完了。 菩提仙川の改修事業完了。 その他、約20河川に対する河川改修工事は継続実施。																						
	土砂災害警戒区域指定に向けた基礎調査を2,030箇所を実施。																						
	2基の砂防堰堤については施設概成。その他、複数地点で砂防堰堤整備事業を継続実施。																						
桜井市	崩壊した山林の復旧治山事業として土砂流出を防ぐ間伐を約7haに対して実施。																						
河内長野市	環境保全林整備事業として間伐事業を約30haに対して実施。																						

事例 No.4 | 取り組み内容：河川整備基本方針、河川整備計画

取り組み主体：大和川河川事務所、大阪府

キーワード：Change、Concentrate

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

大和川河川事務所は、大和川水系の長期的な河川整備の考え方を取りまとめた「大和川水系河川整備基本方針」をH21年3月に策定しました。今後は約30年間の具体的な整備内容を示す「大和川水系河川整備計画」の策定に向けて取り組んでいく予定です。



大和川水系河川整備基本方針の概要  
(大和川河川事務所提供)

※ 詳細な内容については以下のHPで閲覧が可能です。  
[http://www.mlit.go.jp/river/basic\\_info/jigyoku\\_keikaku/gaiyou/seibi/yamato\\_index.html](http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyoku_keikaku/gaiyou/seibi/yamato_index.html)

大阪府では、石川の河川整備計画策定に向けた河川整備委員会を集中的に開催し、審議の効率化を図ったことにより、整備計画（素案）まで作成することができました。大阪府ではH21年度中の申請を目指し、住民意見聴取の実施や委員会の開催を予定しています。



石川ブロック河川整備計画についての住民説明会告知チラシ (大阪府提供)

事例 No.5 | 取り組み内容：総合治水対策、流域対策

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、奈良県内の24市町村、松原市

キーワード：Change、Collaborate、Concentrate

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

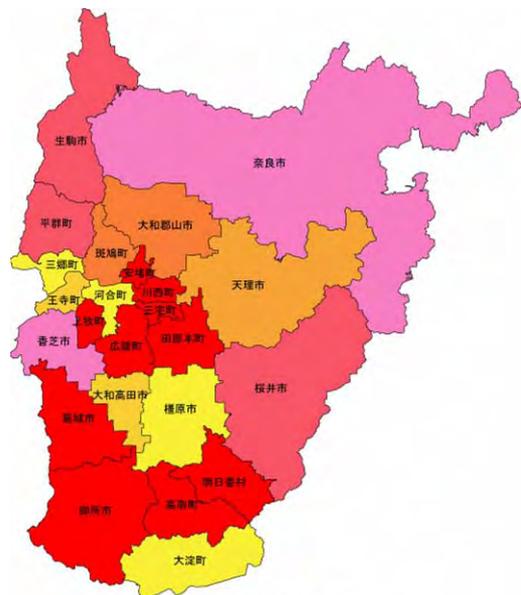
急速な市街化が進んだ奈良県では、これまでの河川改修だけでは十分な水害対策を行うことが難しくなってきたため、流域全体で水害対策を行うべく、防災調節池の設置やため池の保全、雨水貯留浸透施設の整備、透水性舗装への切り替え等を実施してきました。

H17年以降、整備面積は横ばい傾向となっているものの、今後も着実に整備を進めていく予定です。なお、H21年3月末時点の流域市町村の進捗状況は以下のとおりです。



対策率40%以上50%未満  
 対策率50%以上60%未満  
 対策率80%以上90%未満  
 対策率90%以上100%未満  
 対策率100%以上  
 ※大淀町は当該施設の計画量はなし

(雨水貯留浸透施設)



対策率10%未満  
 対策率10%以上20%未満  
 対策率20%以上30%未満  
 対策率40%以上50%未満  
 対策率50%以上60%未満  
 対策率90%以上100%未満  
 対策率100%以上

(ため池治水利用施設)

大阪府内においても松原市では下水道に接続した際に、浄化槽を雨水貯留施設に転用する場合に対して補助金を出す制度があり、行政機関だけでなく地域住民も参加した治水対策に取り組んでいます。

【大和川河川事務所、奈良県及び大阪府取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大和川河川事務所	危険情報の発信	
	まるごとまちごとハザードマップ設置の推進	
	総合治水対策の推進	
	河川改修を通じた治水事業の実施	
	高規格堤防整備を通じた治水事業の実施	
	大和川水系河川整備基本方針策定	
	防災訓練の実施	
	出前講座を通じた意識啓発及び情報提供	
	亀の瀬現地見学会の開催	
奈良県	亀の瀬地すべり対策事業	
	浸水常襲地域における減災対策の検討	
	ダム、河川改修等の治水事業の実施	
	除草、浚渫等の維持管理	
	防災訓練の実施	
	情報連絡体制の整備	
	土砂災害警戒区域の指定	
大阪府	砂防堰堤・溪流保全工の整備	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
	危険情報の発信（おおさか防災ネット、防災情報メール）	
	河川改修、河川整備計画等の治水事業の実施	
	情報連絡体制の整備	
	市町村における避難勧告等に関するマニュアル作りの補助	
	石川河川整備計画策定に向けた河川整備委員会の開催	
	防災訓練の実施	
	土砂災害警戒区域の指定	
	砂防えん堤・溪流保全工の整備	
被害拡大防止対策の遂行		
工場・事業場への立ち入り指導等		

【奈良県内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
奈良市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.nara.nara.jp/b_hp/hazard_map/index.htm">http://www.city.nara.nara.jp/b_hp/hazard_map/index.htm</a>
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
生駒市	HP上でのハザードマップや土砂災害警戒マップの公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.ikoma.lg.jp/index/bosai/001.html#2">http://www.city.ikoma.lg.jp/index/bosai/001.html#2</a>
大和高田市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.yamatotakada.nara.jp/side/pdf/kouzui_map_1_421.pdf">http://www.city.yamatotakada.nara.jp/side/pdf/kouzui_map_1_421.pdf</a>
	防災訓練の実施	
大和郡山市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/bousai/hazard.htm">http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/bousai/hazard.htm</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	防災訓練の実施	
天理市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.tenri.nara.jp/gyomu/bousai/hazard%20map.pdf">http://www.city.tenri.nara.jp/gyomu/bousai/hazard%20map.pdf</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
橿原市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.kashihara.nara.jp/bousai/kouzuihazardmap.pdf">http://www.city.kashihara.nara.jp/bousai/kouzuihazardmap.pdf</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	防災訓練の実施	
	出前講座、広報誌を用いた防災意識の啓発活動	
桜井市	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.sakurai.nara.jp/bousai/pdf/kmap0501.pdf">http://www.city.sakurai.nara.jp/bousai/pdf/kmap0501.pdf</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	情報連絡体制の整備	
	防災訓練の実施	
	治山事業・緊急間伐事業の実施	
事業場への立ち入り、水質調査の実施		

自治体名	取り組み内容	備考
御所市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.gose.nara.jp/img/soumu/hazardMAP_H.pdf">http://www.city.gose.nara.jp/img/soumu/hazardMAP_H.pdf</a>
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
香芝市	防災訓練の実施	
	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kensetsuka/hazaado/index.html">http://www.city.kashiba.nara.jp/outside/kakuka/kensetsuka/hazaado/index.html</a>
葛城市	市職員や消防署員による「防災マップ作成演習」を通じた防災演習	
	警報等の気象情報の住民への情報周知	
	ハザードマップの作成	
宇陀市	防災訓練の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.uda.nara.jp/disaster/hazard-map/page/kouzui_hm.html">http://www.city.uda.nara.jp/disaster/hazard-map/page/kouzui_hm.html</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
平群町	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.heguri.nara.jp/pdf/bousaimap.pdf">http://www.town.heguri.nara.jp/pdf/bousaimap.pdf</a>
	防災訓練の実施	
三郷町	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.sango.nara.jp/bousai/index.htm#JavaScript;">http://www.town.sango.nara.jp/bousai/index.htm#JavaScript;</a>
	雨水流出抑制施設の設置	
斑鳩町	防災訓練の実施	
	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.ikaruga.nara.jp/si/bousai-zyouhou.htm#b-2">http://www.town.ikaruga.nara.jp/si/bousai-zyouhou.htm#b-2</a>
安堵町	情報連絡体制の整備	
	町独自の防災情報メール配信開始	
	防災訓練の実施	
川西町	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.ando.nara.jp/">http://www.town.ando.nara.jp/</a>
	町独自の防災情報メールの配信	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/cmsfiles/contents/0000000/678/kawanishi.hzmap.hp.pdf">http://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/cmsfiles/contents/0000000/678/kawanishi.hzmap.hp.pdf</a>
三宅町	防災訓練の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.miyake.nara.jp/155/484/001675.html">http://www.town.miyake.nara.jp/155/484/001675.html</a>
	町独自の防災情報メールの配信	
田原本町	防災訓練の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.tawaramoto.nara.jp/05_others/disaster-prevention/flood_map.html">http://www.town.tawaramoto.nara.jp/05_others/disaster-prevention/flood_map.html</a>
	防災訓練の実施	
高取町	HP上でのハザードマップ公表を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.takatori.nara.jp/kouzui-map/index.html">http://www.town.takatori.nara.jp/kouzui-map/index.html</a>
明日香村	HP上でのハザードマップ公表を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.asukamura.jp/bousai/imgs/hazardmap.pdf">http://www.asukamura.jp/bousai/imgs/hazardmap.pdf</a>
上牧町	防災訓練の実施	
王寺町	防災訓練の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.oji.nara.jp/bousai/ZOOMA/ouji_kouzui_map/ouji_kouzui_map/index.html">http://www.town.oji.nara.jp/bousai/ZOOMA/ouji_kouzui_map/ouji_kouzui_map/index.html</a>
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
広陵町	防災倉庫の設置	
	防災訓練の実施	
	ハザードマップの作成	
河合町	職員による「状況予測型図上訓練」を通じた防災演習	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.kawai.nara.jp/sogo_bosai_map.pdf">http://www.town.kawai.nara.jp/sogo_bosai_map.pdf</a>
	防災訓練の実施	
大淀町	広報誌を通じた防災情報の提供	
	町独自の防災情報メールの配信	

【大阪府内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大阪市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishi/su/page/0000011547.html">http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishi/su/page/0000011547.html</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
八尾市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.yao.osaka.jp/cmsfiles/contents/0000003/3396/1.pdf">http://www.city.yao.osaka.jp/cmsfiles/contents/0000003/3396/1.pdf</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	おおさか防災ネットの配信	
	防災訓練の実施	
堺市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kanribosai/hm/hmindex.html">http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kanribosai/hm/hmindex.html</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
富田林市	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://e-ezu.city.tondabayashi.osaka.jp/top/top.asp">http://e-ezu.city.tondabayashi.osaka.jp/top/top.asp</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	市独自の防災情報メールの配信	
	防災訓練の実施	
河内長野市	MCA同報系防災無線システムの整備	
	市独自の防災情報メールの配信	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.kawachinagano.osaka.jp/kakuka/kouhou/ukoutyou/page0521a-c04-01004.pdf">http://www.city.kawachinagano.osaka.jp/kakuka/kouhou/ukoutyou/page0521a-c04-01004.pdf</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	河道改修事業の実施	
	環境保全林整備事業の実施	
	土砂災害警戒区域の指定に関する説明会の開催	
防災訓練の実施		
松原市	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
	交通導線の円滑化と防災環境の向上を目指した新線事業の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.matsubara.osaka.jp/hazardmap/hzmapy.htm">http://www.city.matsubara.osaka.jp/hazardmap/hzmapy.htm</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	防災訓練の実施	
	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
柏原市	浄化槽雨水貯留施設転用補助制度の創設	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.kashiwara.osaka.jp/kikikanri/dosyakou/zuimaptop.htm">http://www.city.kashiwara.osaka.jp/kikikanri/dosyakou/zuimaptop.htm</a>
	市独自の防災情報メールの配信	
	おおさか防災ネットの配信	
	被害拡大防止対策の遂行	
	土砂災害警戒区域の指定に関する説明会の開催	
羽曳野市	防災訓練の実施	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.habikino.osaka.jp/hp/menu000003000/hpg000002978.htm">http://www.city.habikino.osaka.jp/hp/menu000003000/hpg000002978.htm</a>
	おおさか防災ネットの配信	
	大乗川改修を実施	
	地域防災計画の改訂	
	急斜地パトロールの実施	
	防災訓練の実施	
事業場への立ち入り、水質調査の実施		
藤井寺市	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.city.fujidera.osaka.jp/resources/content/1757/map_s.pdf">http://www.city.fujidera.osaka.jp/resources/content/1757/map_s.pdf</a>
	浸水対策事業の実施	
	職員による防災訓練の実施	
	自主防災ネットワーク組織の活動支援	
	事業場への訪問、啓発、指導の実施	
	防災訓練の実施	
事業場への立ち入り、水質調査の実施		
大阪狭山市	事業場への立ち入り、水質調査の実施	
	おおさか防災ネットの配信	
河南町	おおさか防災ネットの配信	
	自主的な防災組織への助成金制度を新設	
	町独自の防災情報メールや無線による情報配信	
	事業場への指導（苦情が出た時に実施）	
	民間企業との災害時の物品提供に関する協定を締結	

自治体名	取り組み内容	備考
太子町	警報等の気象情報の住民への情報周知	
	ハザードマップの作成	
	HP上でのハザードマップ公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.town.taishi.osaka.jp/hazardmap.php">http://www.town.taishi.osaka.jp/hazardmap.php</a>
千早赤阪村	おおさか防災ネットの配信	
	HP上での土砂災害危険区域図の公表や広報誌を通じた防災情報の提供	<a href="http://www.vill.chihayaakasaka.osaka.jp/bosai/map/index.html">http://www.vill.chihayaakasaka.osaka.jp/bosai/map/index.html</a>
	HP上での村独自の雨量情報の発信	

### 3. 次世代に伝える美しい大和川を目指して

#### 3. 1 取り組みについての総括

大和川では水質の向上の柱に①発生源対策、②汚濁負荷削減対策、③河川の本来機能再生対策の3つを据えています。

発生源対策としては、奈良県内を中心にアクリルタワシ作製講座等を開催したり、広報誌やイベント等で積極的に生活排水対策に関する情報提供、意識啓発を継続的に実施しています。

大阪府側でもアクリルタワシの普及活動や料理教室の中での生活排水対策の情報提供等、様々な形での取り組みが継続的に進められています。

汚濁負荷削減対策としては、下水道整備、下水道への接続に対する啓発活動及び支援等が挙げられます。接続率は低い自治体で50%程度にとどまっており、今後も継続して接続への啓発活動や資金面での支援等を通じて、接続率の改善に努めていく必要を認識しています。

また、浄化槽を利用している家屋に対しては、適切な維持管理をしていくよう、継続して指導していく予定です。

河川の本来機能再生対策では、河川清掃から浄化施設整備まで、幅広い取り組みを進めています。

なお、H20年の大和川水質（本川8地点平均）は75%値、年平均値ともに、観測史上最も良質な水質でした。この結果は、これまで流域全体で様々な取り組みを進めてきた成果といえます。

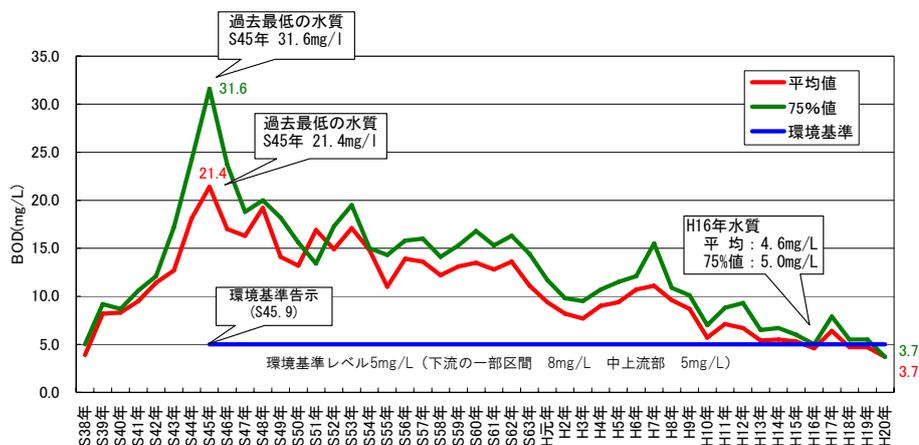


図3 大和川におけるBODの経年変化

その他、水環境への関心を高めてもらうために、河川をフィールドとした環境学習やイベント等も実施されています。これらのイベントの参加者の感想は概ね良好であり、水環境への関心を高める取り組みとしては有益であることから、今後もボランティアや NPO 等と連携しながら、実施していく予定です。

図 4は、大和川河川事務所、府県、市町村が昨年の取り組みを踏まえて見直したロードマップに対するH21年8月までの進捗状況を整理したものであり、いずれの項目においても概ね計画通りに実施されています。

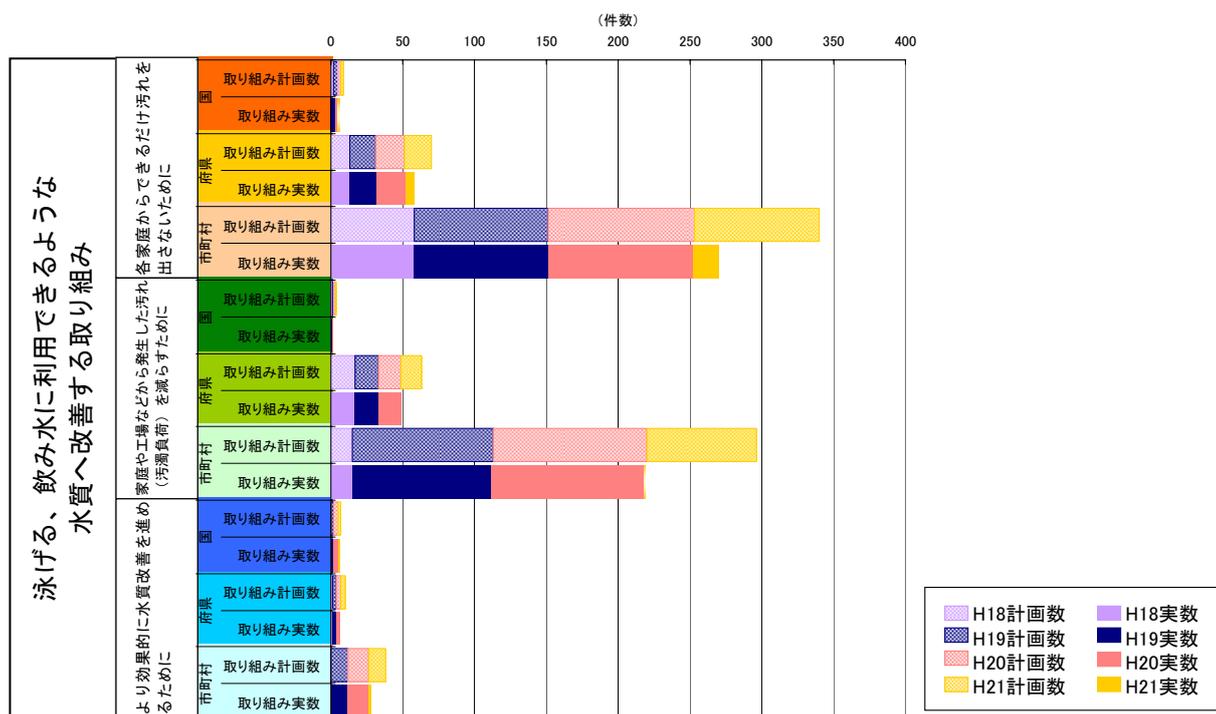


図 4 (1) 関係機関の取り組み状況

※H21年に計画している取り組みについては現在進行中

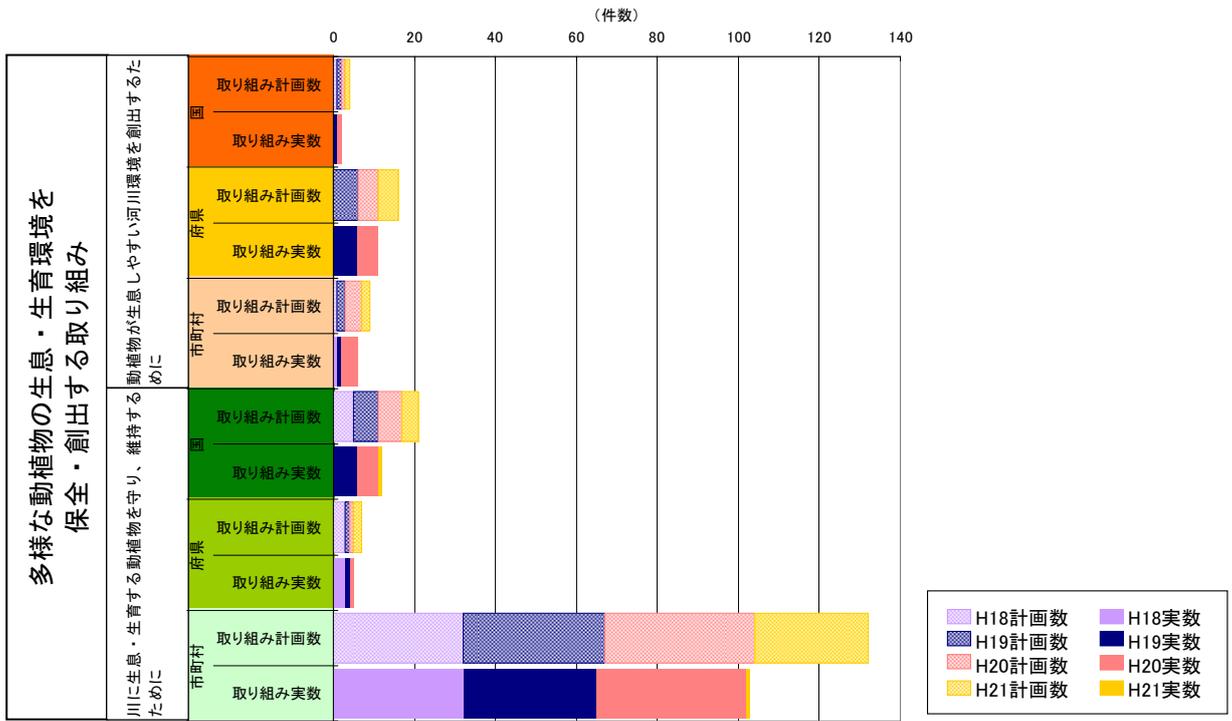


図 4 (2) 関係機関の取り組み状況

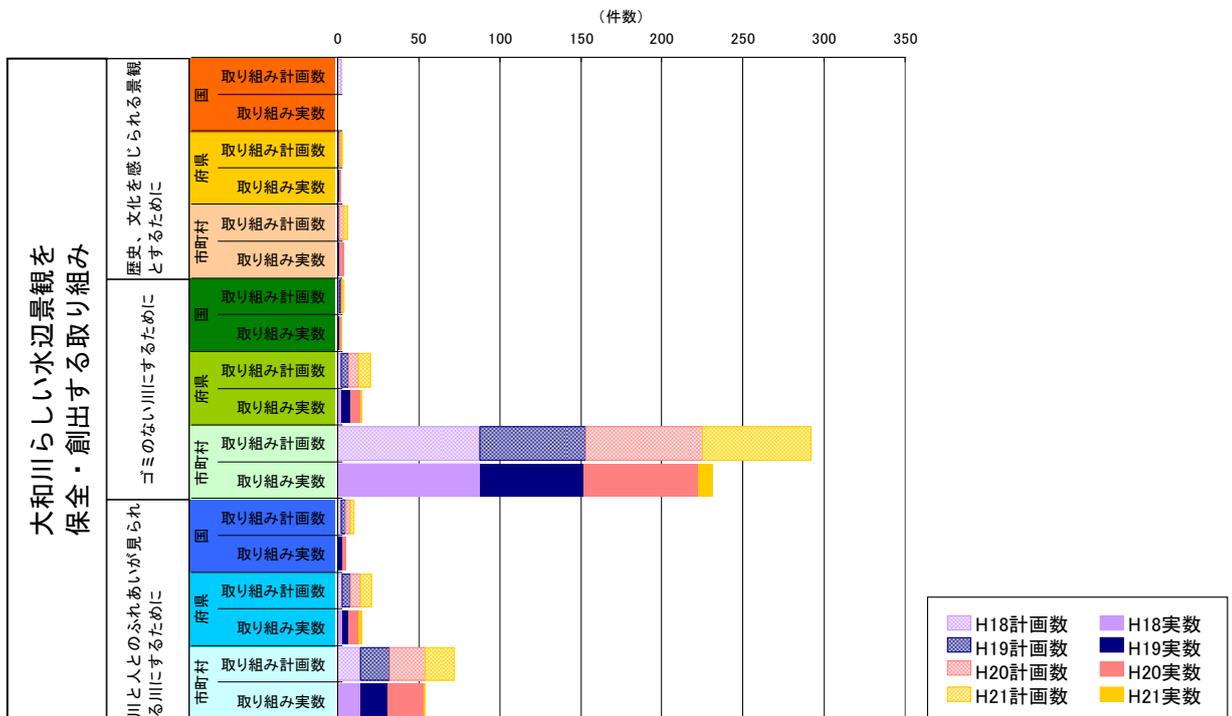


図 4 (3) 関係機関の取り組み状況

※H21年に計画している取り組みについては現在進行中

### 3. 2 取り組みの代表事例紹介

「次世代に伝える美しい大和川」を目指し、①泳げる、飲み水に利用できるような水質への改善、②多様な動植物の生息・生育環境の保全・創出、③大和川らしい水辺景観の保全・創出、の3つ具体的な目標を掲げて様々な取り組みを進めています。

「次世代に伝える美しい大和川」を目指した取り組みは府県や市町村が主体となって実施する対策が多くを占めていますが、地域住民の協力も非常に重要となってきます。

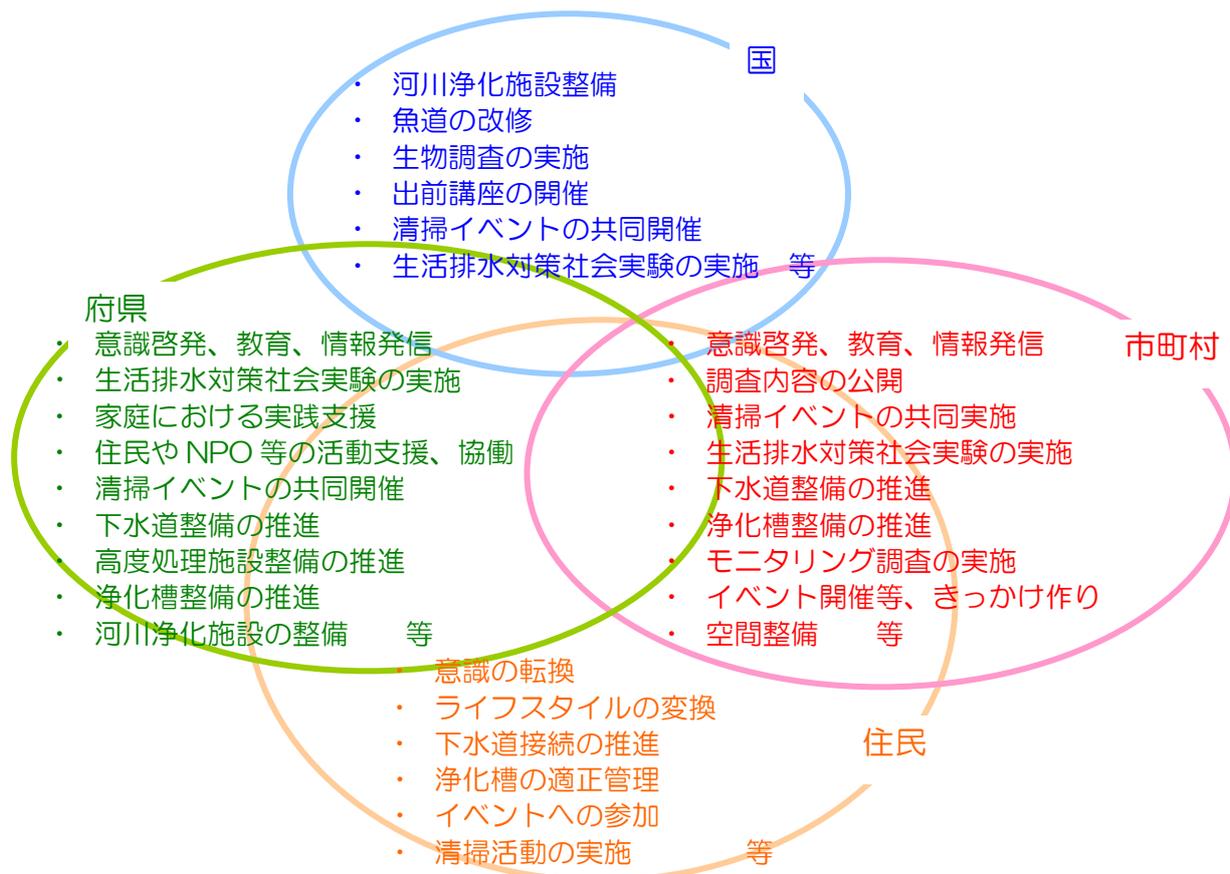


図 5 国・府県・市町村・地域住民が担う役割の概要図

<紹介リスト>

No	取 り 組 み 概 要	
No.6	取り組み内容	参加型体験イベントを通じた水質、生活排水対策に対する意識啓発
	実施状況	各地で様々な参加型体験イベントが実施されており、意識啓発に貢献している。
No.7	取り組み内容	河川環境に関連した環境学習への取り組み
	実施状況	主催元、活動内容は多岐に渡っており、様々な視点からの環境学習が実施されている。 参加者の感想は好評であり、今後も継続した実施が望まれる。
No.8	取り組み内容	生活排水対策（ソフト対策）
	実施状況	食用油の回収量は長期的に増加傾向にあることやNPOやボランティアによる活動が新たに開始される等、市民活動として根付いてきている。
No.9	取り組み内容	大和川流域における清掃活動
	実施状況	地域住民による定期的な清掃活動から 1 万人規模の清掃イベントまで様々な清掃活動が行われている。
No.10	取り組み内容	生活排水対策社会実験
	実施状況	過去最高の参加率となっており、社会実験の認知度も少しずつではあるが上昇してきている。 実験による水質改善も確認済み。
No.11	取り組み内容	下水道整備
	実施状況	全ての自治体で少しずつではあるが普及率は上昇。あわせて接続率の一層の向上を目指した支援も実施中。

事例 No.6 | **取り組み内容**：参加型体験イベントを通じた水質、生活排水対策に対する意識啓発

**取り組み主体**：大和川河川事務所、奈良県、橿原市、斑鳩町、川西町、王寺町、大阪市、柏原市、大和川水系河川漁業協同組合

**キーワード**：Collaborate 、 Concentrate

**取り組みの継続性**：今後も継続予定

**この1年間のトピック**：

小中学生を対象とした場合、情報を一方的に提供する講義型よりも参加型体験型の方が興味を引く、記憶に残る、といった点から有効な手法といえます。

大阪市では小中学生を対象とした水質についての参加体験学習会を下水道科学館にて2日にかけて毎年開催しています。H20年度は下水処理の仕組み等を学ぶ水質実験教室と下水道クイズラリーを開催しました。



「夏休み子ども教室」の様子

(大阪市提供)

川西町では大和川水域河川漁業協同組合の協力のもと、幼稚園児によるアユの放流イベントをH14年以降、毎年開催しています。H20年は園児約70名が約1,000匹の成魚を放流するとともに、川をきれいにするためにできることについて学びました。



アユの放流イベント当日の様子

(川西町提供)

この他、多くの自治体でも意識啓発活動の一環として、参加型体験イベントを多数開催しています。

事例 No.7	取り組み内容：河川環境に関連した環境学習への取り組み	
取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、流域市町村、自治会、NPO、大和川水環境協議会		
キーワード：Collaborate、Concentrate		
取り組みの継続性：今後も継続予定		
この1年間のトピック： 大和川流域の自治体では、自治体主催の取り組み、NPO等のボランティアと共催の取り組み、NPO主催の取り組み等、多様な主体による河川環境に関する環境学習の取り組みが実施されています。 また、活動内容も夏休みを利用した屋外イベント、小学校の授業の一環としての取り組み等、多岐にわたっています。 参加者の反応は概ね良好であり、今後も継続した取り組みが望まれます。		
(取り組みの一例)		
自治体名	取り組み内容	備考
大和川河川事務所	「やまがわ水生生物調査」	参加小学校数：5校 参加小学生数：計390名
奈良県	「みんなのかっぱ教室」 大和川博士講座、リバーウォッチング、パネル展示	参加者数： (H20年)計77名 (H21年)計137名
大和高田市	「リバーウォッチング」 高田川に生息する生物の観察会	
王寺町	自然観察会	参加者数：31名
川西町	環境学習コーナーの設置	
桜井市	自然観察会、源流探検	開催回数：17回 参加者数：計797名
羽曳野市	「親子・水辺の観察会」	
八尾市	「水辺環境学習」 水質及び水生生物に関する学習支援の実施	
NPO 大和川水環境協議会 南河内3市2町1村	「親と子のふれあい自然学習会」	参加者数：親子約200名

「親と子のふれあい学習会」は今後も他市町村と連携し、継続していきたい。(大阪狭山市)



(職員)



豊かな自然を観察する夏

自然学習などのイベント

**親子のふれあい自然学習会**

夏休みの親子で自然観察会を開催します。夏休み期間中、親子で自然観察会を開催します。夏休み期間中、親子で自然観察会を開催します。

開催日時：7月10日(土) 10時～12時

開催場所：河内長野市立中央公民館

参加費：無料

申し込み：7月5日(木)まで

お問い合わせ：河内長野市環境課

電話：074-422-1111

ファクス：074-422-1112

ホームページ：http://www.city.kawachi-nagano.lg.jp

※雨天中止の場合、事前連絡いたします。

▲川が流れることのない川の中心部で生き物を探してみよう(写真：河内長野市提供)



「親子のふれあい自然学習会」の様子 (河内長野市提供)

(広報かわちながの H20.7)

大和川博士講座は分かりやすく面白かった。パケットテストが楽しかった。



(参加者)



(小4)

生活排水は下水処理で自然河川への影響は小さいと思っていました。これほど大きな影響があるとは思いませんでした。



「みんなのかっぱ教室」の様子 (奈良県提供)



思っていたより川は汚くなかった。生き物採取が楽しかった。



(小4)

「やまとがわ水生生物調査」の様子 (大和川河川事務所提供)

事例 No.8 | 取り組み内容：生活排水対策（ソフト対策）

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、大阪府、流域市町村、NPO、民間企業

キーワード：Change

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

大和川流域内では多様な生活排水対策が数多く実施されています。

この1年間に実施した生活排水対策の多くはこれまでも継続して行われてきたものですが、参加者数や食用油回収量等は長期的に見ると増加傾向にあり、生活排水対策に対する地域住民の意識は確実に高まってきているといえます。



(生活排水対策のための取り組みの一例)

取り組み内容	自治体名	備考
アクリルタワシ作製を通じた意識啓発	奈良県	「奈良県山の日・川の日」のイベントとして5回、その他に5回実施 参加者数：合計250名以上
	柏原市	小学生を対象に2回実施
出前講座を通じた情報提供・意識啓発	大和川河川事務所	10小学校に対し実施
	奈良市	出前講座「水環境の現状と家庭でできる対策について」
	平群町	1小学校（60名）に対し実施
パネル展示等による情報提供	藤井寺市	1小学校（70名）に対し実施
	王寺町	イベントの1コーナーとして設置
エコクッキング教室	広陵町	小中学校8校に対しポスター掲示
	柏原市	
	羽曳野市	年2回開催
食用油の回収を通じた意識啓発	堺市	年1回開催
	斑鳩町	H20年度は4,610リットルを回収
	三宅町	水質改善強化月間の一環で実施
	御所市	ボランティアによる回収活動が新たに開始
	田原本町	
	大和高田市	
	大和郡山市	
河内長野市	H20年度は約7,600リットルを回収	
物品配布	川西町	
	香芝市	
	桜井市	水質改善強化月間の一環で実施

こうした内容を中学校の家庭科でしっかりやっていたら、子供を通して親も教えられ変わっていくと思います。



(アクリルタワシ作製イベント参加者)

また、ボランティアや企業による生活排水対策活動（水質改善活動）も各地で積極的に行われています。

生活排水対策は劇的に水質を向上させる取り組みではありませんが、今後も地域住民と協力・協働しながら積極的に進めていきたいと考えています。

（生活排水対策（水質改善活動）のための取り組みの一例）

取り組み内容	団体名	備考
食用油の回収	未来の環境を考える会 （御所市）	H20年10月開始
元気玉（EM団子）の作成	御所市生活学校 （御所市）	
EM菌を活用した活性液や団子の作成	菰川を美しくする会 （奈良市）	
植物（空芯菜）を活用した水質浄化	狭山池まつり実行委員会 （大阪狭山市）	狭山池で実施
「大和川定期貯金」を通じた意識啓発	大和信用金庫	H18年から実施。 第10回日本水大賞奨励賞を受賞。



第1回大和川定期貯金募集のリーフレット

～ 御所市で活動する団体が環境省の表彰を受賞 ～

水・土壌環境の保全に関し、顕著な功績があった団体や個人を環境省が表彰する「水・土壌環境保全活動功労者表彰」を市内中学校と御所市地域婦人団体連絡協議会の2つの団体が水環境保全に貢献したことを評価され、受賞しています。



（御所市提供）

事例 No.9 | 取り組み内容：大和川流域における清掃活動

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、大阪府、流域市町村、NPO、民間企業、自治会

キーワード： Collaborate 、 Concentrate

取り組みの継続性：今後も継続予定

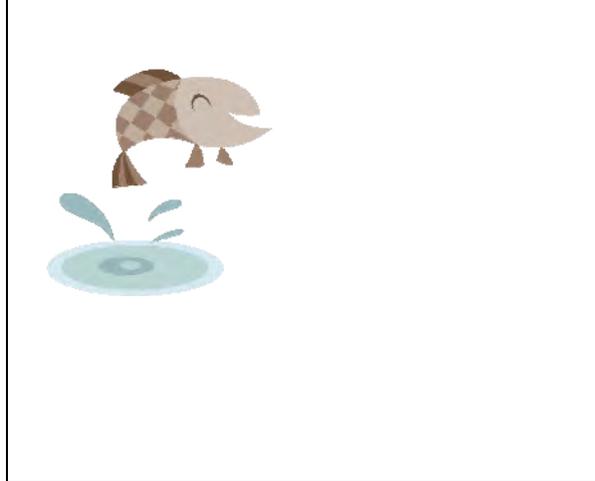
この1年間のトピック：

大和川流域では「大和川・石川クリーン作戦」「大和川一斉清掃」といった大阪府、奈良県が中心となって開催する大規模な清掃活動だけでなく、自治体や自治会単位での定期的な清掃活動もいたるところで継続的に行われています。これらの清掃活動には幅広い年齢層の地域住民が参加しており、流域住民の大和川への関心の高さが伺えます。

なお、「大和川・石川クリーン作戦」「大和川一斉清掃」については、「Ⅲ 更なる推進を目指した新たな取り組みについて」で整理しています。

(主な清掃活動の一例)

自治体名	参加人数	収集した ゴミの量	備考
大阪府、奈良県及び流域市町村	約 23,700 名	約 247 トン	H21.3.1 (日) に、大和川・石川クリーン作戦と大和川一斉清掃を同時開催。
上牧町	53 名	-	滝川において年 1 回実施。
藤井寺市	約 1 万名	約 194 トン	「みぞ・すいろ・かわクリーン 21」運動
	-	約 93 トン	藤井寺市クリーンキャンペーン
河南町	(全世帯参加)	約 9.7 トン	年 1 回実施。
御所市	約 1,000 名	-	年 1 回実施。
葛城市	-	-	葛下川支流において年 2 回実施。
三郷町	-	-	年 1 回実施。
河合町	約 4,300 名	-	年 1 回実施。
田原本町	約 300 名	約 4 トン	企業、住民、ボランティアと協働で H20 年度初めて開催。
斑鳩町	1,102 名	約 0.7 トン	町内 7 つのコースを対象に年 1 回実施。



「クリーンキャンペーン」の様子  
(河南町提供)

事例 No.10 | 取り組み内容：生活排水対策社会実験

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、大阪府、流域市町村、NPO、民間企業

キーワード：Change、Collaborate、Concentrate

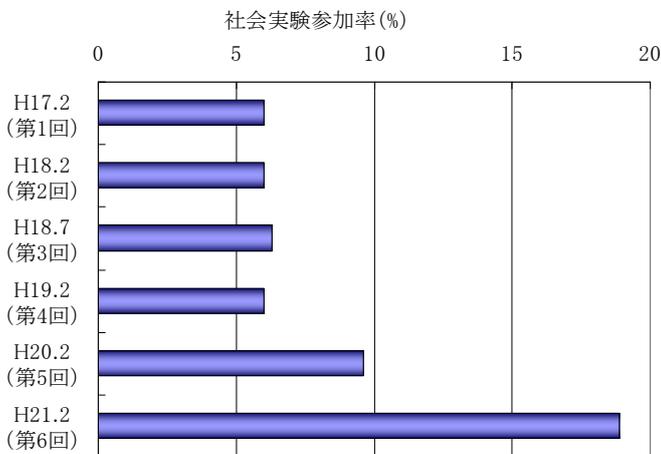
取り組みの継続性：今後も継続予定

### この1年間のトピック：

大和川流域では H16 年度から生活排水対策社会実験を実施しています。

この社会実験では一定期間、流域住民に対して生活排水をできるだけ流さないように協力を要請し、社会実験期間前・期間中の水質を調査し、生活排水対策の効果を検証しています。

H20 年度は 2/14～2/20 までの 7 日間にわたり社会実験を実施しました。流域における参加率（アンケート集計による）は増加傾向にあり、H20 年度（第 6 回）は約 19% となっています。



(社会実験に協力した住民)

今回の社会実験で、直轄区間の BOD 負荷量は 9 地点中、7 地点で低下しました。

気象条件や河川流量等の調査条件が異なっているため、単純比較はできませんが社会実験による水質改善効果がある程度発現したと考えられます。

生活排水対策社会実験は意識啓発に大きく貢献していると考えられることから、今後も継続して実施していく予定です。

事例 No.11 | 取り組み内容：下水道整備

取り組み主体：大和川流域内 35 市町村

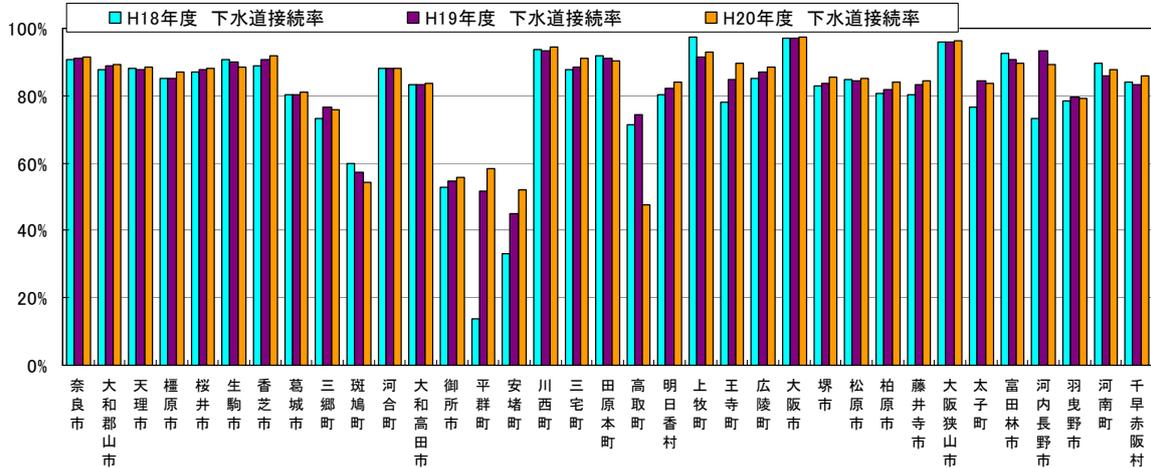
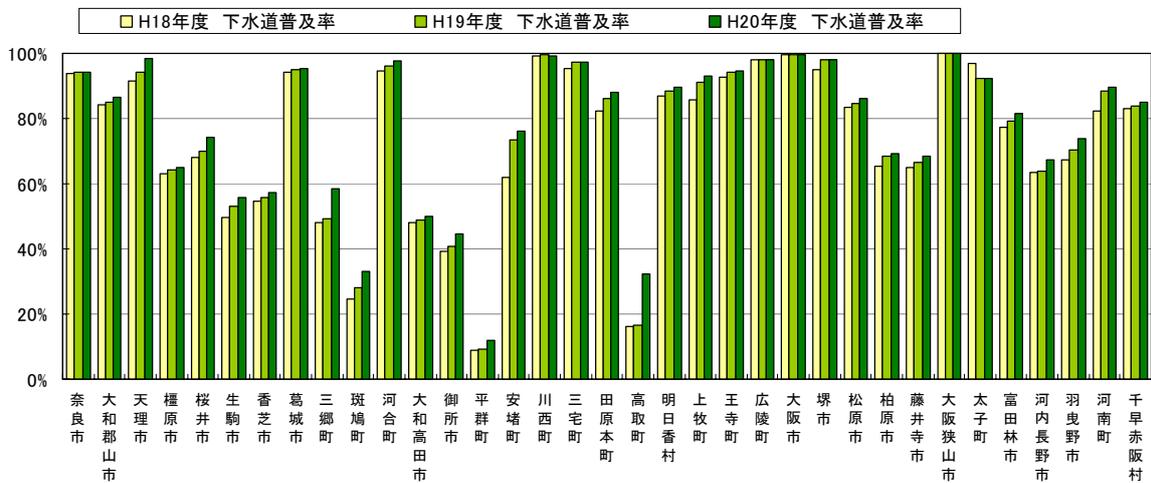
キーワード：Change、Concentrate

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

多くの自治体では、下水道整備とあわせて、補助金や無利息融資制度による資金援助や個別訪問を通じた啓発活動も合わせて実施しており、ハード面・ソフト面両面からのサポートを進めています。

その成果もあり、ほとんどの自治体で下水道整備人口、接続人口とも微増しています。今後も各自治体において下水道整備人口の向上を目指して取り組みを進めていく予定です。



\*接続率=接続人口/普及人口  
 (接続人口が増加しても、それ以上に普及人口が増加すると、ケースによっては接続率は低下します。)  
 \*宇陀市にかかる大和川流域には下水道がないため、大淀町、八尾市の汚濁負荷は直接大和川に流入しないため、上表には記載していません。

【大和川河川事務所、奈良県及び大阪府取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大和川河川事務所	出前講座を通じた意識啓発及び情報提供	
	生活排水対策社会実験の実施	
	河川浄化施設整備	
	水質悪化の原因究明	
	水質自動監視施設の適切な維持管理	
	定期採水による水質調査の実施	
	魚道整備	
	アユの遡上モニタリング調査の実施	
	多自然川づくりモニタリング調査の実施	
	地域との協働による水生生物調査の実施	堺市、柏原市、王寺町、三郷町、河合町の小学生を対象に実施
	水質調査結果の公表	
	水環境改善への意識啓発を目的とした大和川コンクールの開催	
河川をフィールドとした環境学習のイベントの開催		
自治体等と連携した清掃イベントの開催		
奈良県	小学生を対象とした出前講座の実施	
	広報誌、パネル展等を用いた啓発活動	
	かっぱ通信の発行	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	浄化施設見学会の開催	
	環境県民フォーラムとの協働	
	生活排水対策社会実験の実施	
	体験講座（アクリルタワシ作製等）の開催	
	大和川清流ふれあい推進事業	
	下水道整備	
	高度処理施設整備の推進	
	合併処理浄化槽の設置・整備の推進	
	浄化槽の清掃・保守点検等の適正管理の推進	
	河川浄化施設の整備	
	瀬戸内海環境保全奈良県計画の公示	
	河川水質調査の実施	
	河川をフィールドとした環境学習のイベントの開催	
	神奈備の郷・川づくり計画の実施	
	自治体等と連携した清掃イベントの開催	自治体等と連携
	「もう少しです！大和川」キャンペーンの実施	大阪府と連携
	大阪府との連携の一環として「大和川一斉清掃」の実施	大和川流域自治体や国交省と連携して開催
	「奈良県山の日・川の日」イベントの一環で様々な視点のイベントを開催	国、大阪府、市町村、NPOと連携して実施
大阪府	標語を活用した生活排水対策の啓発	
	HPを通じた生活排水対策に関する情報提供	
	出前講座の実施	
	「私の水辺」大発表会南河内地域交流会の開催	
	生活排水対策推進月間中のパネル展示等を通じた水環境に対する意識啓発	
	生活排水対策社会実験の実施	
	空芯菜の栽培等	
	下水道整備	
	浄化槽整備事業の実施	
	河川浄化施設の整備の実施	
	高度処理の推進	
	総量削減計画の推進	
	公共用水域の水質常時監視	
	「もう少しです！大和川」キャンペーンの実施	奈良県と連携
	多自然川づくりの整備	
	アドブトリバー制度による清掃活動支援	
	大和川・石川クリーン作戦	大和川流域自治体や国交省と連携して開催
	河川清掃活動の実施	
	清掃活動や不法投棄に関する看板を作成・掲示した2小学校に対し、川をまもり隊に任命	
	親と子のふれあい自然学習会の開催	近隣市町村、水環境協議会等と連携して開催

【奈良県内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
奈良市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	生活排水対策社会実験の実施	
	河川水質調査の実施	
	佐保川清掃対策委員会が主催した清掃活動の共催	佐保川清掃対策委員会、奈良県、奈良市が協力
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	アドプトプログラム制度の新設	
大和高田市	出前出張講座を通じた情報発信、意識啓発	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	食用油の回収	
	地域住民による清掃活動	
	排水路の堆積土砂の浚渫	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
大和郡山市	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	食用油の回収	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	ボランティアによる清掃活動やNPOによるビオトープづくり活動に対する支援	
	環境月間ポスターの公募	
	河川水質調査の実施	
天理市	下水道接続に対してHPやチラシ等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
橿原市	河川清掃活動の実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	小学生を対象とした出前講座の実施	
	折り込みチラシ、パネル等を用いた生活排水対策に対する啓発活動の実施	
	生活排水対策社会実験の実施	
	食用油の回収	
	河川をフィールドとした環境学習イベントをボランティア団体と開催	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川水質調査の実施	
清掃活動の実施		
環境パトロールの実施		
桜井市	環境パトロールの実施	
	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	下水道接続率向上にむけ、無利子貸付制度の実施や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	浄化槽の適正管理の啓発	
	河川水質調査の実施	
	河川の水生生物調査の実施	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	水環境に関する作文、絵画等の公募	
	河川清掃活動の実施	
	不法投棄対策（看板設置）の実施	
	環境パトロールの実施	
環境学習教材の作成		
各種体験教室の開催		

自治体名	取り組み内容	備考
御所市	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	リサイクル活動の支援	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	アクリルタワシやEM団子の作成を通じた意識啓発	
	河川をフィールドとしたボランティア団体主催の環境学習イベントを開催	
	施設の見学会の開催を通じた生活排水対策への意識啓発	
	環境問題に関する講座	
	水環境に関する作文、絵画等の公募	
	河川清掃活動の実施	
	不法投棄対策の実施	
	食用油の回収活動開始	
香芝市	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	河川水質調査の実施	
	食用油の回収及びディーゼル燃料へのリサイクル	
	地域住民による清掃活動	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	大和川博士講演	
	排水路の堆積土砂の浚渫	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
葛城市	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川清掃活動の実施	
平群町	下水道整備	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	生活排水対策社会実験の実施	
	出前出張講座や店頭での情報発信、意識啓発	
	河川清掃活動の実施	
三郷町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	生活排水対策社会実験の実施	
	大和川クリーンキャンペーン	
	食用油の回収	
	浄化施設内の植生管理	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
下水道整備		
斑鳩町	生活排水対策の啓発品の配布	
	食用油から石鹸をつくるリサイクル活動の実施	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	ボランティアによる定期的な清掃活動	
	環境パトロールの実施	
	下水道整備	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	河川清掃活動の実施	
	不法投棄対策（看板設置）の実施	
	水難事故防止対策の実施	

自治体名	取り組み内容	備考
川西町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	食用油の回収	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川水質調査の実施	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	施設の見学会の開催を通じた生活排水対策への意識啓発	
	園児によるアユの稚魚放流	
	水環境に関する作文、絵画等の公募	
	環境学習の教材作成	
	環境学習に関する情報提供・コーナー設置	
	ボランティアによる清掃活動	
	リサイクル活動の支援	
三宅町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	食用油の回収	
	河川清掃活動の実施	
田原本町	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	家庭版ISOの実施	
	食用油の回収	
	生活排水改善対策パネル展示	
	河川清掃活動の実施	
	不法投棄対策の実施	
	環境パトロールの実施	
上牧町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川清掃活動の実施	
王寺町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	イベントで生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	生活排水改善対策パネル展示	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	ボランティアによる定期的な清掃活動	
	食用油の回収	
	環境ポスターの公募	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
広陵町	下水道接続に対して広報誌等や街頭での啓発活動を実施	
	河川水質調査の実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	自然観察会の実施	
	環境学習に関する情報提供・コーナー設置	
	河川清掃活動の実施	
	不法投棄対策の実施	
河合町	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	河川清掃活動の実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	

【大阪府内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大阪市	ビデオ・パネルを用いた水環境に対する啓発活動	
	参加型体験学習を通じた生活排水対策に対する意識啓発	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	雨水吐口からごみ等の流出を防止する装置（夾雑物流出防止装置）の設置・運用	
	河川愛護キャンペーンの実施	
	施設の見学会の開催を通じた生活排水対策への意識啓発	
	下水道整備	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
八尾市	水辺の環境学習イベントの支援	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
	下水道整備	
	河川清掃活動の実施	
堺市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	エコクッキングを通じた生活排水対策の情報提供	
	河川浄化施設による河川浄化の実施	
	自治会による定期的な清掃活動の実施	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
	下水道整備	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
地域自治会による花壇の維持管理		
富田林市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
	河川をフィールドとした環境学習イベントをボランティア団体と開催	
親子のふれあい自然学習会の開催	大阪府、近隣市町村と連携して開催	
河内長野市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	食用油の回収	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	下水道整備	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	河川水質調査の実施	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	水環境に関するはがき絵コンクールの実施	
	親水空間の定期的な清掃の実施	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
	環境パトロールの実施	
	ポイ捨て、不法投棄禁止看板等の配布	
	アドプトリバー制度による清掃活動支援	
親子のふれあい自然学習会の開催	大阪府、近隣市町村と連携して開催	
松原市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	生活排水対策社会実験の実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川水質調査の実施	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
	アドプトリバー制度による清掃活動支援	

自治体名	取り組み内容	備考
柏原市	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	小学生を対象に水質実験を通じた水環境に対する意識啓発	
	河川水質調査の実施	
	アクリルタワシを用いた水環境に対する啓発活動	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	竜田古道の里山整備事業	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
市民マラソン大会の開催		
羽曳野市	エコクッキングを通じた生活排水対策の情報提供	
	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	ふるさとの川モデル事業の実施	
	河川水質調査の実施	
	河川をフィールドとした環境学習イベントの開催	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
藤井寺市	下水道整備	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道接続に対して広報誌やHP等を用いて啓発活動を実施	
	イベント（市民まつり）で生活排水対策に対する啓発活動を実施	
	河川浄化施設による河川浄化の実施	
	河川水質調査の実施	
	小学生を対象とした環境学習会の実施	
	下水道課内での水生生物の展示	
河川清掃活動の実施		
大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催	
大阪狭山市	施設の見学会の開催を通じた生活排水対策への意識啓発	
	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	生活排水対策の啓発品の配布	
	河川水質調査の実施	
	ボランティアによる定期的な清掃活動	
	河川パトロールの実施	
親と子のふれあい自然学習会の開催	大阪府、近隣市町村と連携して開催	
河南町	下水道接続に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	下水道接続率向上にむけ、助成金制度等の資金援助や個別訪問等を実施	
	下水道整備	
	河川清掃活動の実施	
	大和川・石川クリーン作戦を通じた清掃活動の実施	大和川流域自治体や国交省、大阪府と連携して開催
太子町	親と子のふれあい自然学習会の開催	大阪府、近隣市町村と連携して開催
	広報紙やリーフレットによる生活排水対策に関する啓発活動	
	ボランティアによる清掃活動によるごみの無料シールの発行	
	未水洗化家屋に対する水洗化への働きかけの実施	
	公共用地（河川・公園等）の一斉清掃活動の実施	
千早赤阪村	親と子のふれあい自然学習会の開催	大阪府、近隣市町村と連携して開催
	下水道接続・水洗化に対して広報誌等を用いて啓発活動を実施	
	合併浄化槽整備に対する補助	
	下水道整備	

## 4. 地域を育む豊かな大和川を目指して

---

### 4. 1 取り組みについての総括

大和川市民ネットワークが本格的に活動を開始したH20年次は大和川の地域の活動力の飛躍に向けた大きな一歩を印した年となりました。

市民ネットワーク以外の住民活動においても、奈良県や大阪府の住民活動を支援するプログラムに参加する団体数が僅かながらも増加しており、大和川流域において住民が主体となる活動は着実にその裾野を広げつつあります。

自治体においても奈良市で新たにアダプトプログラム推進事業を立ち上げる等、住民活動の行政支援体制も少しずつではありますが充実しつつあるといえます。

自治体の支援体制の拡充は住民活動の裾野を広げるための十分条件であることから、行政機関としては、今後も自治体における住民活動支援体制の拡充を図るべく努力していく予定です。

また、大阪府内の自治体の博物館や民族博物館では、大和川流域に関する歴史展が至るところで開催されています。堺市や柏原市では毎年季節展の形で開催しており、小学生が自分の地域の歴史を学ぶ機会を提供しています。

これまでは、博物館や民族博物館等の施設との連携はあまり行なわれていませんでしたが、今後はこのような施設とも連携を図りながら、地域住民に対して、大和川の歴史・文化に関する情報提供を積極的に進めていくことが重要と考えています。

図 6は、大和川河川事務所、府県、市町村が昨年の取り組みを踏まえて見直したロードマップに対するH21年8月までの進捗状況を整理したものであり、いずれの項目においても計画通りに実施されています。



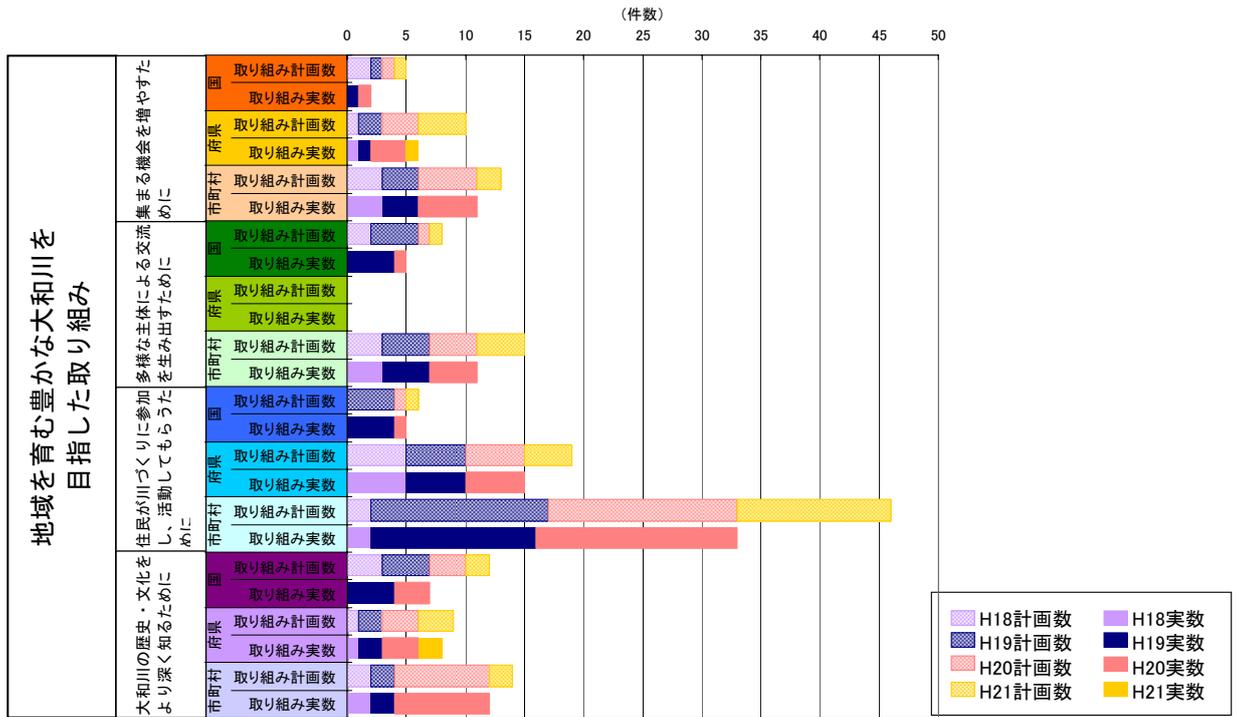


図 6 関係機関の取り組み状況

※H21年に計画している取り組みについては現在進行中

#### 4. 2 取り組みの代表事例紹介

「地域を育む豊かな大和川」を目指し、①人と人との交流の場の提供、②大和川をよりよくするための住民参加、③大和川への理解を深め、大和川を大切にする姿勢の育成、の3つ具体的な目標を掲げて様々な取り組みを進めています。

「地域を育む豊かな大和川」を目指した取り組みは他の2つと比べて地域住民の活動が中心的役割を担っており、実現には地域住民との協働・協力体制の充実が重要となります。

次ページ以降にこの1年間に取り組んだ事例の中から代表的な取り組みを紹介します。

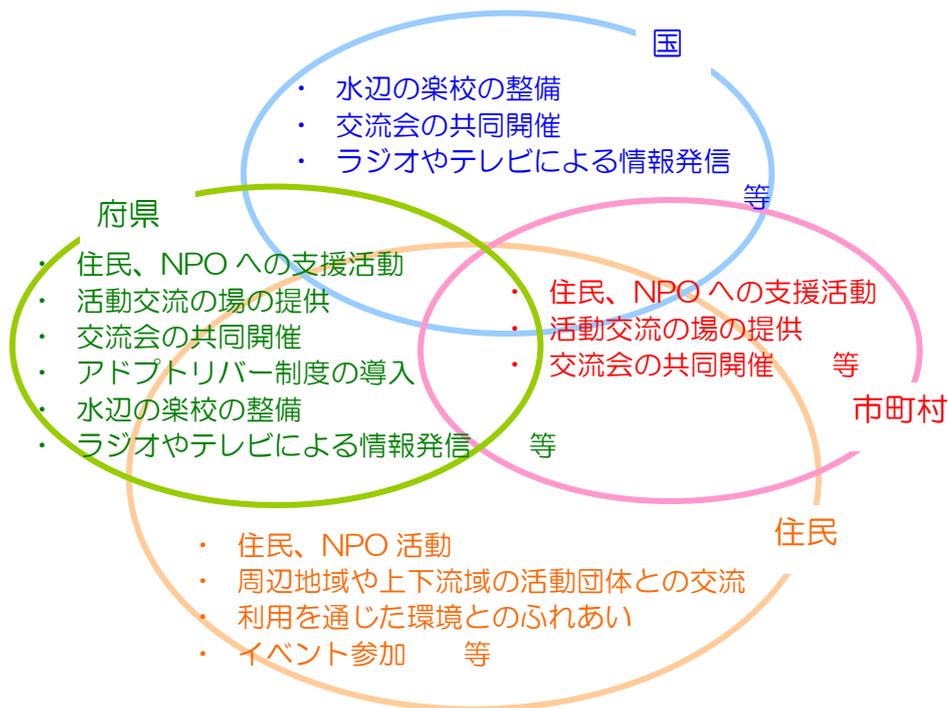


図 7 国・府県・市町村・地域住民が担う役割の概要図

<紹介リスト>

No	取 り 組 み 概 要	
No.12	取り組み内容	交流を深める機会、知り合う機会の提供
	実施状況	大阪府や堺市においては継続して機会や場の提供が行われており、参加者からは好評を得ている。 昨年設立された「大和川市民ネットワーク」において活発な活動が実施されている。
No.13	取り組み内容	大和川を知る機会の提供
	実施状況	自治体による市民講座だけでなく、博物館や教育委員会によるイベントも各地で積極的に開催されている。
No.14	取り組み内容	多様な主体が参画できる機会、制度の整備
	実施状況	ボランティアへの支援体制の拡充は着実に進んできている。

事例 No.12	取り組み内容：交流を深める機会、知り合う機会の提供																				
取り組み主体：大阪府、堺市、柏原市、大和川市民ネットワーク																					
キーワード： Collaborate 、 Concentrate																					
取り組みの継続性：今後も継続予定																					
<p>この1年間のトピック：</p> <p>H20年3月に設立した大和川市民ネットワークの初のイベントが、H20年10月13日に柏原市民文化会館リビエールホールで開催されました。</p> <p>当日は78名が参加し、古代から近代の日本人と下水の付き合いについての記念講演やパネルディスカッション等を行いました。</p> <p>その他、H20年度の活動（ネットワークとしての活動だけでなく、ネットワーク会員の活動を含む）としては、以下の活動を実施しました。</p> <p>(取り組みの一例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大和さくらい万葉まつりへの参加</td> <td>E ボートの乗船会の実施 大和川の写真展示</td> </tr> <tr> <td>「私の水辺」大発表会中河内地域交流会への参加</td> <td>E ボートの乗船会の実施</td> </tr> <tr> <td>「大和川再生フォーラム 2008」の開催</td> <td>(ネットワーク会員の企業が主催)</td> </tr> <tr> <td>大和川の上流と下流の交流会への参加</td> <td>御所市周辺農業用施設、浄水場の施設見学 共催イベントの情報提供</td> </tr> <tr> <td>大和川つけかえ史跡見学会</td> <td>第1回 柏原～八尾 (H20.8.10 開催) 第2回 依網池跡～堺市 (H20.11.2 開催) 第3回 文芸館・博物館見学会 (H21.1.7 開催)</td> </tr> </tbody> </table> <p>大和川市民ネットワークの活動以外にも多くの交流を深める活動が行われており、代表的な活動状況は以下のとおりです。</p> <p>(取り組みの一例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名 (主体)</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第7回「私の水辺」大発表会南河内地域交流会 (大阪府)</td> <td>H20年12月6日に開催。約100名が参加。 当日は水辺に興味を持ってもらうための講演や展示による発表会を実施。 なお、H20年度は「南河内水辺のつどい」との共同で開催。</td> </tr> <tr> <td>楽しいんやさかい大和川～一日水辺の学校～ (堺市)</td> <td>H20年7月19日に開催。約1,000名が参加。 当日は砂州や水辺での遊びや大和川博士講座、水生生物調査、パネル展示等を行い、環境について学ぶ機会を提供。</td> </tr> <tr> <td>こいのぼりまつり (柏原市)</td> <td>河川敷において実施するこいのぼりまつりに合わせて、こども絵画作品展を開催。H20年度は約380枚絵画が応募。</td> </tr> </tbody> </table>		イベント名	活動内容	大和さくらい万葉まつりへの参加	E ボートの乗船会の実施 大和川の写真展示	「私の水辺」大発表会中河内地域交流会への参加	E ボートの乗船会の実施	「大和川再生フォーラム 2008」の開催	(ネットワーク会員の企業が主催)	大和川の上流と下流の交流会への参加	御所市周辺農業用施設、浄水場の施設見学 共催イベントの情報提供	大和川つけかえ史跡見学会	第1回 柏原～八尾 (H20.8.10 開催) 第2回 依網池跡～堺市 (H20.11.2 開催) 第3回 文芸館・博物館見学会 (H21.1.7 開催)	イベント名 (主体)	活動内容	第7回「私の水辺」大発表会南河内地域交流会 (大阪府)	H20年12月6日に開催。約100名が参加。 当日は水辺に興味を持ってもらうための講演や展示による発表会を実施。 なお、H20年度は「南河内水辺のつどい」との共同で開催。	楽しいんやさかい大和川～一日水辺の学校～ (堺市)	H20年7月19日に開催。約1,000名が参加。 当日は砂州や水辺での遊びや大和川博士講座、水生生物調査、パネル展示等を行い、環境について学ぶ機会を提供。	こいのぼりまつり (柏原市)	河川敷において実施するこいのぼりまつりに合わせて、こども絵画作品展を開催。H20年度は約380枚絵画が応募。
イベント名	活動内容																				
大和さくらい万葉まつりへの参加	E ボートの乗船会の実施 大和川の写真展示																				
「私の水辺」大発表会中河内地域交流会への参加	E ボートの乗船会の実施																				
「大和川再生フォーラム 2008」の開催	(ネットワーク会員の企業が主催)																				
大和川の上流と下流の交流会への参加	御所市周辺農業用施設、浄水場の施設見学 共催イベントの情報提供																				
大和川つけかえ史跡見学会	第1回 柏原～八尾 (H20.8.10 開催) 第2回 依網池跡～堺市 (H20.11.2 開催) 第3回 文芸館・博物館見学会 (H21.1.7 開催)																				
イベント名 (主体)	活動内容																				
第7回「私の水辺」大発表会南河内地域交流会 (大阪府)	H20年12月6日に開催。約100名が参加。 当日は水辺に興味を持ってもらうための講演や展示による発表会を実施。 なお、H20年度は「南河内水辺のつどい」との共同で開催。																				
楽しいんやさかい大和川～一日水辺の学校～ (堺市)	H20年7月19日に開催。約1,000名が参加。 当日は砂州や水辺での遊びや大和川博士講座、水生生物調査、パネル展示等を行い、環境について学ぶ機会を提供。																				
こいのぼりまつり (柏原市)	河川敷において実施するこいのぼりまつりに合わせて、こども絵画作品展を開催。H20年度は約380枚絵画が応募。																				



先生のお話がすごく楽しかった。魚を捕れなかったことが残念。



大和川も上流にはたくさん生き物がいるんですね。夏休みに家族で行って来たいと思います。



楽しいんやさかい大和川～一日水辺の楽校～当日の様子

(大和川河川事務所提供)



発表によって子供達に自信をつけさせる場として参加校からは評価してもらっています。今後の課題は参加校の新規開拓です。

「私の水辺」大発表会南河内地域交流会当日の様子

(大阪府提供)

### ～ 流域を越えた交流の機会 ～

H21年3月1日に第2回「子ども水辺」交流会が滋賀県で開催されました。

船に乗って「湖上環境学習」、琵琶湖博物館にて、グループに分かれての交流会や様々な体験・交流プログラムが実施されました。

次回は、京都で開催される予定です。



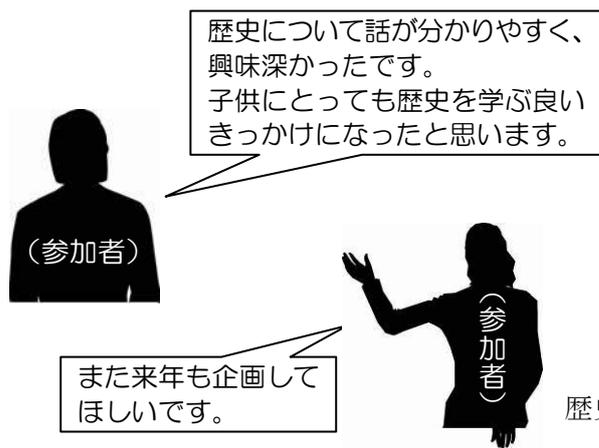
事例 No.13 | 取り組み内容：大和川を知る機会の提供

取り組み主体：大和川河川事務所、奈良県、広陵町、河合町、堺市、八尾市、松原市、柏原市

キーワード：Concentrate

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：  
 奈良県では、「奈良県山の日・川の日」イベントの一つとして、歴史・文化講座を開催しました。  
 当日は“歴史カタリスト”とともに、山辺の道を金屋の石仏から海拓榴市を歴史について学びながら巡りました。



奈良県山の日・川の日イベント  
 歴史・文化講座～くらしと川のかかわり～  
 の当日の様子 (奈良県提供)

その他の自治体でも大和川の歴史や文化、大和川で行われている取り組み等、大和川に関する様々な情報を提供する取り組みが行われています。

(取り組みの一例)

自治体名	内容	備考
大和川河川事務所	Cプロジェクトに関する実施報告書、概要版の作成公表	年1回公表
	CDST	年10回開催
奈良県	かっぱ通信として流域内の小学校に河川情報誌を配布	年3回実施
	「奈良県山の日・川の日」イベントの一つとして歴史・文化講座を開催	
広陵町	大和川の歴史や文化に関する出前出張講座の実施	年4回開催
河合町	大和川流域の歴史に関するセミナーを開催	全5回コース
八尾市	大和川に関する常設展を開催	
堺市	大和川の歴史と流域に関する展示の開催	
松原市	大和川に関する特別展を開催	
柏原市	大和川における文化財講座、講演、季節展示を開催	

※ CDST・・・コミュニケーション型国土行政の一環として、大和川の概要・川の水質の話・亀の瀬地すべりの話等について、楽しく・わかりやすく説明する出前講座

事例 No.14

取り組み内容：多様な主体が参画できる機会、制度の整備

取り組み主体：奈良県、大阪府、奈良市、大和郡山市、橿原市、生駒市、斑鳩町、川西町、三宅町、田原本町、明日香村、大阪市、堺市、富田林市、河内長野市、松原市、大阪狭山市、太子町

キーワード：Change、Collaborate

取り組みの継続性：今後も継続予定

この1年間のトピック：

Cプロジェクトでは国・府県・市町村が主体となった取り組みだけでなく、地域住民が主体となった活動へのサポートにも積極的に取り組んでいます。

奈良市では H20 年 6 月にアダプトプログラム推進事業（愛称：さわやかクリーン奈良）を開始し、ボランティアの美化活動を支援する体制を整備しました。

H21 年 2 月末時点の参加団体数は計 29 団体 630 名にのびっています。また、活動場所も道路、公園、河川と多岐にわたっています。



**創刊号 さわやかクリーン奈良 アダプトだより**

奈良市では、市民活動からアダプトプログラム推進事業（愛称：さわやかクリーン奈良）がスタートしました。この創刊号は、市民活動の現状や、ボランティアの活躍の様子、活動場所の紹介などを掲載しています。

奈良市 市民活動部 市民参画課  
奈良市二宮東町一丁目1番1号  
TEL: 0742-227811-200-6669  
E-mail: kankaku@nara-city.jp

**活動紹介① 花いっぱい運動の会**

活動紹介② 住居系グリーンサポートボランティアクラブ

**参加者の数**

自治体	18団体
市民活動団体	10団体
ボランティア団体	1団体
合計	29団体

**参加者の数**

男性	180名
女性	450名
合計	630名

**アダプトプログラム推進事業のしくみ**

1. 自治体からの依頼 2. 市民活動団体の募集 3. ボランティアの募集 4. 活動場所の提供 5. ボランティアの活動 6. 活動のサポート 7. 活動の振り返り 8. 活動の報告



(職員)

H20年度は予想以上の参加を頂きました。皆さんの声に耳を傾け、アダプトプログラム推進事業が広がっていくように頑張っていきたいと思います。  
(創刊号 さわやかクリーン奈良アダプトだよりより抜粋)

(奈良市提供)

その他の自治体においても制度の拡充や支援団体数の増加があり、多様な主体が参画する地域社会に向けて着実に進んでいるといえます。

(自治体がサポートする制度状況の一例)

名称	自治体名	H20年度参加状況	H20年度1年間の増減数
地域が育む川づくり事業	奈良県	18 団体	+11
河川美化愛護団体支援事業	奈良県	121 団体	-1
アドプトリバー・プログラム	大阪府	12 団体	+3
維持管理活動に対する支援	大阪市	4 団体	±0
河川維持管理に対する支援	堺市	8 団体	

※ 大阪府のアドプトリバー・プログラムは大和川流域の河川で活動している団体数を抽出

## 【大和川河川事務所、奈良県及び大阪府取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大和川河川事務所	Cプロ計画年次報告レポート作成	
	マスメディアによる大和川に関する情報提供	
	大和川水辺まつりの実施	堺市主催
	総合学習のための出前講座	
奈良県	河川美化愛護団体支援事業	
	地域が育む川づくり事業	
	河川に関する情報誌の発行	
	NPOと協働したほたるの里づくり	
	「奈良県山の日・川の日」イベントの一環で様々な視点のイベントを開催	
大阪府	「私の水辺」大発表会南河内地域交流会の開催	
	「南河内 水辺のつどい」の開催	
	アドプトリバー制度による清掃活動支援	
	清掃活動や不法投棄に関する看板を作成・掲示した2小学校に対し、川をまもり隊に任命	
	大和川を深く知ることができる情報発信（大和川流域ニュース）	

## 【奈良県内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
奈良市	アダプトプログラム制度の新設	
大和郡山市	ボランティアによる清掃活動やNPOによるビオトープづくり活動に対する支援	
天理市	環境展での環境学習や環境保全活動報告 パネルディスカッションを通じたエコ活動に関する情報提供	
橿原市	飛鳥川生活排水対策推進会議の取り組み 河川をフィールドとした環境学習イベントをボランティア団体と開催	飛鳥川流域の5市町村と連携
桜井市	大和さくら万葉まつりの開催	
斑鳩町	ボランティアによる定期的な清掃活動	
川西町	飛鳥川生活排水対策推進会議の取り組み	飛鳥川流域の5市町村と連携
三宅町	飛鳥川生活排水対策推進会議の取り組み	飛鳥川流域の5市町村と連携
田原本町	飛鳥川生活排水対策推進会議の取り組み	飛鳥川流域の5市町村と連携
明日香村	飛鳥川生活排水対策推進会議の取り組み	飛鳥川流域の5市町村と連携
広陵町	小中学生を対象とした大和川の歴史や文化に関する出前出張講座の実施	
河合町	大和川流域の歴史に関するセミナー開催	

ボランティアの活動とは清掃活動だけでなく、河川の維持・管理も含めた活動を意味する。

## 【大阪府内自治体別取り組みリスト】

自治体名	取り組み内容	備考
大阪市	ボランティアによる定期的な清掃活動に対する支援	
八尾市	大和川に関する常設展を開催	
堺市	楽しいんやさかい大和川一日水辺の楽校の実施	
	地域自治会による花壇の維持管理	
	内川・土居川まつりの開催	
	大和川の歴史と流域に関する展示の開催	
富田林市	農業祭・ふれあい祭りの開催	
河内長野市	シルバー人材センターを通じた定期的な河川清掃活動 アドプトリバー制度による清掃活動支援	
松原市	南河内水辺の集いへの参加	
	アドプトリバー制度による清掃活動支援	
	大和川に関する特別展を開催	
柏原市	市民郷土まつりの開催	
	こいのぼりまつりの開催	
	大和川流域における文化財講座や講演、季節展の開催	
大阪狭山市	環境・リサイクルフェアの開催 ボランティアによる定期的な清掃活動	
太子町	アドプトリバー制度による清掃活動支援	
	ボランティアによるホテルの保護・育成活動	

ボランティアの活動とは清掃活動だけでなく、河川の維持・管理も含めた活動を意味する。

### Ⅲ 更なる推進を目指した新たな取り組みについて

#### 1. 水質改善に向けた新たな取り組み

近年の大和川本川の水質は環境基準レベルの水質になる等、改善されてきていますが、全国一級河川の中ではワースト上位であり、図 9に整理しているように、支川の中には依然として環境基準を達成できていない地点もあります。

奈良県、大阪府ではこのような状況を踏まえて、より一層の水質改善の取り組みを行なうべく、プロジェクトチームを立ち上げました。

両プロジェクトチームでは、行政担当者だけで水質改善に取り組むのではなく、民間団体や市町村と連携を図りながら水質改善に取り組んでいます。

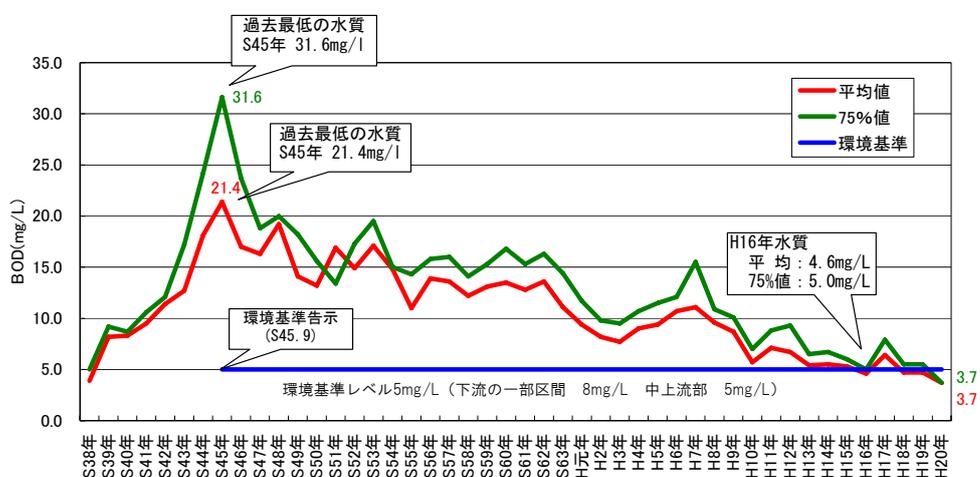
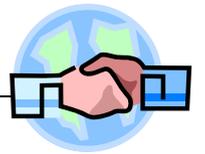


図 8 大和川における BOD 値の経年変化



図 9 大和川水系の BOD の状況と C プロ目標の達成状況 (H20)

## 《県境を越えた自治体と地域住民の新たな連携》 大和川流域での一斉清掃を実施



大阪府、大和川流域市町村及び大和川河川事務所は、H8年度から継続している「大和川・石川クリーン作戦」をH21年3月1日に開催しました。今回は、同じ日に奈良県側でも「大和川一斉清掃」と題した大規模な清掃イベントを初めて開催しました。

当日は奈良県の19市町村31会場、大阪府の13市町70会場で清掃活動が行われ、23,700名の流域住民が参加し、合計で約247トンのゴミを回収しました。

今後は大和川の再生を加速させるべく、奈良県・大阪府が独自に水質改善の取り組みを実施し、ただでなく、連携できる分野については積極的に連携していく予定です。



(大和川・石川クリーン作戦)

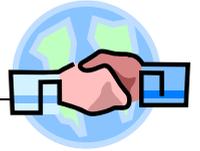


(大和川一斉清掃)



- 大和川一斉清掃
- 大和川・石川  
クリーン作戦

## 《県境を越えた自治体間の新たな連携》 街頭での啓発活動の実施



H21年7月14日には連携の第2弾として、「もう少しです！大和川」をキャッチフレーズに大和川の水質改善への協力を呼びかけたチラシ及び啓発物品の配布を奈良県側で5箇所、大阪府側2箇所の計7箇所で一斉に実施しました。

この一斉啓発活動には大和川河川事務所も協力しています。

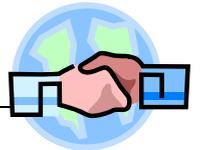


(近鉄藤井寺駅前)



(近鉄奈良駅前)

## 《官民の新たな連携》 水質改善に向けた取り組みの検討・実施の場の創設



奈良県では県内における水質改善を国交省、流域市町村、民間団体（住民団体、NPO、企業）と連携を取りながら、進めていくために、「大和川清流復活ネットワーク」をH20年11月18日に立ち上げました。

同ネットワークでは、以下に示すような取り組みについて検討・実施していく予定です。

- ① 大和川及び各支川の流域の実情に関する情報の共有化
- ② 水質改善の必要性を県民と共有化
- ③ 支川毎のきめ細かな水質改善計画の策定
- ④ 効果の検証と状況に応じた追加対策の検討



第3回大和川清流復活ネットワーク会議の様子



大和川清流復活ネットワーク HP  
(<http://www.yamato-river.net/>)



大阪府でも同様に、府内における水質改善を図るべく、「大和川水質改善検討チーム」を立ち上げています。市町村との一層の連携強化を図り、下水道の接続促進、高機能型浄化槽の集中整備、事業所排水対策等の取り組みを進めています。

## 2. 料理教室での生活排水対策に対する意識啓発活動を実施（大和郡山市）

大和郡山市ではこれまで定期的に料理教室を開催していましたが、H21年11月27日に実施した料理教室で、生活排水対策等に関する情報提供を行ないました。

今後も料理教室を開催する際には、身近に実施できるエコ対策についての情報提供を行なっていく予定です。

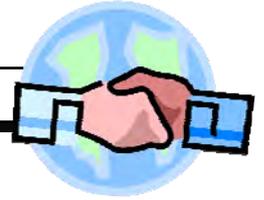


料理教室当日の様子



料理教室当日に配布したパンフレット  
(大和郡山市提供)

## IV 大和川の再生に向けて



2006年のCプロジェクト計画策定以降、関係機関では大和川再生を加速するための様々な取り組みが確実に実行されており、H20年次（H20年度）も新たな取り組みを含めて数多くの多岐にわたる取り組みが実施されました。その中でも、H21年3月に行われた大和川の一斉清掃において大阪府と奈良県が初めて“連携”して同時に清掃活動を実施したことは、大和川再生を加速するための大きな一歩といえます。

大和川の再生を加速するには個々の取り組みだけでなく、流域全体で集中することが重要です。今後は自治体の境界を越えて大和川再生のために“連携”していく体制づくりを積極的に推進していきたいと考えています。

来年はいよいよ平城遷都 1300年を迎えます。Cプロジェクト計画はひとまず来年で終了年を迎えますが、大和川の再生のための取り組みは来年度以降も継続・発展させていくことが重要です。

最終年である2010年はこれまで継続してきた取り組みを着実に実施するとともに、Cプロジェクト計画2006を総括し、流域全体が一体となって取り組むことができる新たな目標と今後の取り組み方法を流域住民と行政機関など流域全体で考えていきます。

(H22年に向けたロードマップ)

### I 生命・財産を守る安全で安心な大和川

目標の体系		主な取り組み項目				主要な役割を担う部門				
		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	国	府県	市町村		
生命・財産を守る安全で安心な大和川	水害による被害を軽減する	住民が水害の危険性を理解し、万に備えるために	整備状況、危険情報の発信				○	○	○	
			洪水ハザードマップなどによる想定される被害状況等の発信				○	○	○	
			防災意識の啓発				○	○	○	
		水害の発生を防ぐために	治水事業の実施				○	○	○	
			河川事業に関する計画の策定				○	○		
			水害発生時に速やかな水防活動を行うために	水害発生時の情報連絡体制の整備、改善				○	○	○
			関係市町村、水防団等による訓練の実施				○	○	○	
	土砂災害による被害を軽減する	住民が土砂災害の危険性を理解し、万に備えるために	土砂災害警戒区域の指定					○	○	
			防災意識の啓発				○	○	○	
			土砂災害の発生を防ぐために	地滑り対策				○	○	
				土砂災害対策				○	○	
		災害発生時に速やかに対応するために	情報連絡体制の整備				○	○	○	
			訓練の実施				○	○	○	
	水質事故による被害を軽減する		水質事故の発生を防ぐために	水質事故マップの作成				○	○	○
		事業場等への指導						○	○	
水質事故発生時に速やかに対応するために		被害拡大防止対策				○	○	○		

## II 次世代に伝える美しい大和川

目標の体系			主な取り組み項目				主要な役割を担う部門		
			2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	国	府県	市町村
次世代に伝える美しい大和川	泳げる、飲み水に利用できるような水質へ改善する	各家庭からできるだけ汚れを出さないために	意識啓発、教育、情報発信				○	○	○
			生活排水社会実験の実施				○	○	○
			家庭における実践の支援(廃油回収、アクリルタワシ、水切りネットなど)					○	○
			住民やNPO等が行う河川関連活動への支援、協働				○	○	○
		家庭や工場等から発生した汚れ(汚濁負荷)を減らすために	下水道の整備					○	○
			浄化槽の整備						○
	河川浄化施設の整備					○	○	○	
	総量規制、削減計画など							○	○
	より効果的に水質改善を進めるために	調査研究の実施				○	○	○	
	多様な動植物の生息・生育環境を保全・創出する	動植物が生息しやすい河川環境を創出するために	多様な水辺環境の保全、再生、創出、魚道の整備				○	○	○
			動植物に関する調査				○	○	○
		川に生息・生育する動植物を守り、維持するために	モニタリング等の調査						○
			外来種対策					○	○
			調査内容の公表、情報発信、意識啓発					○	○
									○
	大和川らしい水辺景観を保全・創出する	歴史、文化を感じられる景観とするために	良好な河川景観の保全、創出				○	○	○
			大和川にまつわる歴史文化の発信					○	○
		ごみの無い川にするために	計画の策定				○	○	○
定期的な清掃活動の実施						○	○	○	
意識啓発、大規模な清掃イベントの開催						○	○	○	
その他(不法投棄対策)						○	○	○	
川と人とのふれあいが見られる川にするために		利用空間の整備・維持				○	○	○	
		情報発信、イベントの開催等によるきっかけづくり				○	○	○	
	その他(水難事故対策)						○		

## III 地域を育む豊かな大和川

目標の体系			主な取り組み項目				主要な役割を担う部門		
			2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	国	府県	市町村
地域を育む豊かな大和川	人が集まる、人と人が融れ合う(利用してもらおう、交流してもらおう)	集まる機会をふやすために	集まりやすい場の整備				○	○	○
			情報発信、イベントの開催等によるきっかけづくり				○	○	○
		多様な主体による交流を生み出すために	交流の場、仕組みづくり					○	○
			知りあひ機会づくり					○	○
	みんなで大和川を元気にする	住民が川づくりに参加し、活動してもらうために	住民の意見の聴取と川づくりへの反映				○	○	○
			多様な主体が参画できる機会、制度、仕組みづくり					○	○
			人材育成とそれを支える仕組み作り				○	○	○
	みんなで大和川を大事にする	大和川の歴史・文化をより深く知るために	大和川を深く知ることができる情報発信				○	○	○
歴史・文化を学習・体験する機会をつくる							○	○	